

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 22 年 6 月

徳島大学

目 次

資料 1-1-1	平成 20, 21 年度における教育 GP 等の実施一覧	1
資料 1-2-1	「ヒューマンコミュニケーション」関連学生・関係者アンケート結果	2
資料 1-2-2	「地域社会人ボランティアを活用した教養教育」新聞記事	2
資料 1-2-3	「地域社会人ボランティアを活用した教養教育」アンケート結果	2
資料 1-2-4	「高齢社会を担う地域育成型歯学教育」外部評価委員の評価	3
資料 1-2-5	平成 19~21 年度の共通カリキュラム比較表	3
資料 1-2-6	「SUMMER PROGRAM 2009 Health Bioscience Course」のプログラム	4
資料 1-2-7	先端技術科学教育部 倫理観・国際観育成科目	4
資料 1-2-8	「技術経営特論」「企業行政演習」の授業評価アンケート結果	4
資料 1-2-9	医療系クラスター構成図	5
資料 1-2-10	医療系クラスターによる月例セミナーの実施状況	5
資料 1-2-11	「2009 Tokushima Bioscience Retreat」参加者アンケート結果	5
資料 1-3-1	統一化後のシラバス(例示)	6
資料 1-3-2	Learning Path Finder アクセス数	6
資料 1-4-1	現代 GP「豊饒な吉野川を持続可能とする共生環境教育」に対する新聞報道	6
資料 1-4-2	現代 GP「豊饒な吉野川を持続可能とする共生環境教育」の実施報告を聞いて	7
資料 1-5-1	学内施設等の共用スペース, 共用化率の推移	7
資料 1-5-2	常三島地区における講義室等利用件数の推移	7
資料 1-6-1	徳島大学平成 20 年度全学 FD 実施計画	8
資料 1-6-2	2008 年度・2009 年度徳島大学全学 FD 推進プログラムの実施状況	8
資料 1-7-1	入学料免除及び授業料免除の取扱いについて	9
資料 1-7-2	第 2 回大学院生生活実態調査報告	9
資料 1-7-3	徳島大学ゆめ奨学金実施規則	10
資料 1-7-4	平成 21 年度徳島大学ゆめ奨学金給付者数	10
資料 1-7-5	日亜特別待遇奨学生(日亜特待生)制度実施要領	11
資料 1-8-1	徳島大学スキルス・ラボ概要	11
資料 1-8-2	平成 21 年度スキルス・ラボ利用状況	12
資料 1-8-3	「チーム医療入門」2009 年度 学生による自己評価結果	12
資料 1-9-1	保健学科・保健科学教育部の教育体系	13
資料 1-9-2	保健学科・保健科学教育部 取得可能免許・資格	13
資料 1-9-3	保健学科・保健科学教育部 免許・資格取得者数(平成 20 年度)	13
資料 1-9-4	保健科学教育部入学状況	14
資料 1-10-1	寮の改修等に関する予算執行状況	14
資料 1-10-2	晨鐘寮・藍香寮・友朋寮からの要望事項等についての実施状況(平成 20, 21 年度)	14
資料 1-11-1	英語による大学院工学教育コース(博士前期・後期課程)の学生募集要項	15
資料 1-11-2	先端技術科学教育部ダブルディグリー, 英語コース入学生数	15
資料 2-1-1	パイロット事業支援(研究支援プログラム)の推進により獲得した外部資金獲得状況一覧	16

資料 2-1-2	重点的に取り組む領域別研究業績.....	16
資料 2-1-3	健康・医療クラスター構想.....	17
資料 2-1-4	徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター規則.....	17
資料 2-2-1	第 1 期中期計画期間における研究関連施設の改善（改修等面積）の推移.....	18
資料 2-2-2	医学基礎 B 棟利用者満足度アンケート調査結果.....	18
資料 2-3-1	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部総合研究支援センター規則.....	19
資料 2-3-2	総合研究支援センター機器使用計算表.....	19
資料 2-3-3	平成 21 年度 共用機器使用状況総括表.....	19
資料 2-4-1	平成 20, 21 年度任用学長裁量ポストプロジェクト一覧.....	20
資料 2-5-1	EDBAssistance の特徴.....	21
資料 2-5-2	PubMed を参照して論文情報を登録する方法.....	21
資料 2-6-1	疾患ゲノム研究センターの組織.....	22
資料 2-6-2	疾患ゲノム研究センターの研究業績.....	22
資料 2-6-3	疾患酵素学研究センターの共同研究.....	23
資料 2-7-1	第 1 期中期計画期間における環境防災研究センターの活動状況の推移.....	23
資料 2-7-2	平成 20 年度及び 21 年度における環境防災研究センターの特徴的な取組.....	24
資料 2-8-1	平成 20 年度附属図書館改修工事概要.....	24
資料 2-8-2	附属図書館利用者アンケート・懇談会で寄せられた意見・要望一覧.....	25
資料 2-8-3	附属図書館 2009 年度アンケート結果概要.....	25
資料 2-8-4	附属図書館学外者利用統計.....	25
資料 2-8-5	学生用図書 of 整備状況.....	26
資料 2-8-6	電子図書館的機能の充実の推移.....	26
資料 2-8-7	附属図書館における展示会及び講演会開催一覧（平成 21 年度）.....	26
資料 3-1-1	TPAS-Net 概要.....	27
資料 3-1-2	TPAS-Net 年間利用者数等.....	28
資料 3-1-3	地域イノベーション創出共同体形成事業.....	28
資料 3-2-1	国立大学法人徳島大学シーズ集 2009.....	29
資料 3-2-2	譲渡技術移転実績.....	29
資料 3-2-3	産業・技術・人的交流協力に関する協定書.....	30
資料 3-2-4	韓日財団との協定締結に係る新聞記事.....	30
資料 3-2-5	国立大学法人徳島大学シーズ集 2009（英語版）.....	30
資料 3-2-6	ロシアにおいて特許登録した本学の発明.....	31
資料 3-3-1	卒業留学生同窓会（中国）記事，卒業留学生同窓会（韓国）記事.....	31
資料 3-3-2	第 5 回国際展開推進シンポジウムのプログラム.....	31
資料 3-3-3	Web 版徳島大学卒業留学生同窓会名簿（卒業留学生データベース）.....	32
資料 3-3-4	国際センター組織図.....	32
資料 3-3-5	国際センター拡大スタッフ会議開催通知.....	33
資料 3-3-6	国際プランナーによる平成 21 年度主要業務のまとめ.....	33

資料1-1-1 平成 20, 21 年度における教育 GP 等の実施一覧

プログラム名		備考
○現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム(現代 GP)		
18～20 年度	医療系学生の保育所実習による子育て支援(医学部・統合医療教育開発センター)	参加学生数 19 年度 165 名, 20 年度 165 名
18～20 年度	豊穡な吉野川を持続可能とする共生環境教育(総合科学部)	参加学生数 19 年度 47 名 開講数4, 20 年度 95 名 開講数4
○大学教育の国際化推進プログラム・戦略的国際連携支援		
17～21 年度	複学位を与える国際連携大学院教育の創設(大学院先端技術科学教育部)	
○地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム(医療人 GP)		
18～20 年度	医療の現場と直結した薬剤師養成教育の実践(薬学部)	
○派遣型高度人材育成協同プラン		
18～21 年度	経営センスを有するπ型技術者の協働育成(大学院先端技術科学教育部)	
○がんプロフェッショナル養成プラン		
19～21 年度	中国・四国広域がんプロ養成プログラム(徳島大学大学院)	
○戦略的国際連携支援事業		
20～21 年度	「四国の知」の集積を基盤とした四国の地域づくりを担う人材育成(u ラーニングセンター等)	
20～21 年度	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」による大学の教育力向上(大学開放実践センター)	
○大学教育の国際化加速プログラム・国際共同・連携支援(交流プログラム開発型)		
20～21 年度	英語力を基礎とする新国際化教育プログラム(国際センター)	
○大学教育の国際化加速プログラム(長期海外留学支援)		
20 年度	徳島大学国際化ポリシーを基にした国際的人材育成(国際センター)	
○質の高い大学教育推進プログラム(教育 GP)		
20～21 年度	高齢社会を担う地域育成型歯学教育(歯学部)	平成 20 年度受講生 26 名 開講数 1, 平成21年度受講生 316 名 開講数6
20～21 年度	地域社会人ボランティアを活用した教養教育(全学共通教育センター)	平成 21 年度の授業開講数は前期9, 後期9(計 18 授業), 社会人ボランティアの延べ参加人数は前期 37 名, 後期 33 名
○社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム		
20～21 年度	既卒薬剤師のキャリアアップを目指した教育支援プログラムの構築(薬学部)	
○組織的な大学院教育改革推進プログラム		
21～23 年度	医療系クラスターによる組織的大学院教育(医科学教育部)	平成 21 年度大学院リトリート受講生数 66 人 大学院リトリート開講数6
○大学病院連携型高度医療人養成推進事業		
21～25 年度	四国本州メディカルブリッジ高度医療人養成-地域医療を担う次世代医師の育成と定着を目指して(病院)	
○周産期医療環境整備事業		
21 年度	(院内助産所等整備)院内助産システムを担うエキスパート助産師育成(病院)	
21～25 年度	(人材養成環境整備)魅力と働き甲斐の創生による周産期医療再生(病院)	
○教育研究高度化のための支援体制整備事業		
21 年度	PMO を活用した教育研究支援組織の構築(HBS 研究部)	
○知的クラスター創生事業		
21 年度	徳島 健康・医療クラスター	

(出典:総務部企画・評価課調べ)

資料1-2-1 「ヒューマンコミュニケーション」関連学生・関係者アンケート結果

	H19		H20	
	そう思う	ややそう思う	そう思う	ややそう思う
Q1.この授業を選択してよかった	90%	9%(計99%)	70%	22%(計 92%)
Q2.実習は満足できた	82%	14%(計 96%)	75%	23%(計 98%)
Q3.実習での学びは大きかった	90%	9%(計99%)	79%	17%(計 96%)
Q4.この授業は改めて基本的マナーを身につけることの一助になっている	79%	19%(計 98%)	77%	21%(計 98%)
Q5.この授業はホスピタリティ・マインドへの気づきの一助になっている	86%	12%(計 98%)	75%	21%(計 96%)
Q6.この授業は役立ち感を実感し自己肯定感の芽を育むことの一助になっている	57%	32%(計 89%)	44%	43%(計 87%)
Q7.この授業はコミュニケーション力を高めることの一助になっている	80%	17%(計 97%)	72%	26%(計 98%)
Q8.この授業はこころの癒しや元気、やる気を育む一助になっている	77%	17%(計 94%)	68%	32%(計 100%)
Q9.この授業は自分を振り返る機会になっている	78%	20%(計 98%)	73%	25%(計 98%)
Q10.この授業を通して自分自身の生き方や普段の人間関係に変化があった	65%	27%(計 92%)	54%	40%(計 94%)
Q11.この授業は仲間のよいところが見える	80%	15%(計 95%)	75%	21%(計 96%)
Q12.この授業は仲間作りに役立っている	67%	26%(計 93%)	70%	30%(計 100%)

平成 19年 20年ともに、授業に対して学生の高い肯定的な評価を得られている。

(出典:平成 20 年度「ヒューマンコミュニケーション関連学生・関係者アンケート結果」より抜粋)

資料1-2-2 「地域社会人ボランティアを活用した教養教育」新聞記事

徳島大学が、一般教養の授業に地域の社会人を招くユニークな取り組みを始めている。会社を退職した団塊の世代に豊富な社会経験や教養を披露してもらい、学生のコミュニケーション力や学習意欲を育てることが目的。地域の人材を生かした新しい教養教育として注目されている。

(出典:平成 21 年 2 月 28 日徳島新聞 18 面 記事より一部抜粋。記事総文字数:1725 文字)

資料1-2-3 「地域社会人ボランティアを活用した教養教育」アンケート結果

【学生に対するアンケート】
(平成 20 年 7 月)

地域社会人が授業に参画することは良いと思いますか？

授業評価アンケートの「総合的満足度」
(5段階評価、5.0点満点の平均値)

- > 教養科目群 (平成 18 年前期) 3.6
- > 社会性形成科目群 (平成 20 年前期) 4.4

【地域社会人ボランティアへのアンケート】 (平成 20 年 7 月)

自由記述より

- これからの新しい社会に最もふさわしい
- 社会人ボランティアは、自ら学ぶ
- 地域でインクルーシブ教育促進が図れる
- ふれあいコミュニケーションは最高の学習方法
- 共に学び考え話し合うのは、新方向性の力
- 学生さんと学ぶのはユニークな試み

(出典:「社会人ボランティアを活用した教養教育_報告書」より抜粋)

資料1-2-4 「高齢社会を担う地域育成型歯学教育」外部評価委員の評価

外部評価委員: 中村千賀子(東京医科歯科大学), 渡部芳彦(東北福祉大学), 寺嶋吉保(徳島大学)

2) 外部評価 (東北福祉大学 渡部 芳彦)

徳島大学歯学部教育 GP の取り組みについて

人間力の定義は多様だが、「社会で活躍していくための人としての総合的な能力」とすれば、それは家庭や地域で長期的・段階的に育まれる部分が多い。しかしながら、現代では生活様式や家族構成の変化、地域社会との接点の減少等により、人間力育成の場が著しく減少している。その様なことから大学1～2年次の学生においては、学力では測れぬ人間力の発達度合いに大きな差異がある可能性がある。また、既に年齢相応の人間力を備えているとしても、それを吟味したり、そこから発展する医療人への視座を得るための時間を持つことは極めて有用である。

徳島大学歯学部では「人間力の向上」と「医療人としての自覚」を目指した地域育成型歯学教育を展開しており、この体験学習に取り組んだ学生の多くが、「聴く態度」や「コミュニケーション力」が向上したと自己評価している。具体的には、シンポジウムにおいて口腔保健学科1年の池淵美里さんが述べたような体験(「パートナーと会話が續かないのでは」という心配や、「楽しませるのではなく自分も楽しむことも大切」という気付き)を通して、個々の学生が悩み・気付き、人間力を養ってきたと考えられる。

高齢者における口腔ケアの潜在的ニーズは大きく多様である。今後の医療人に求められるのは、単に医療機関に来院する患者への配慮ではなく、健康障害のリスクの高い人の生活に関わる中で、潜在的ニーズを拾い上げ、多職種連携で改善に結び付けることであろう。

徳島大学における地域育成型歯学教育の報告を通して、この取り組みが、今年度までにおいて意図する成果を確実にもたらしていると評価した。今後は、実践的スキルを備えるトレーニング、この教育で得た新しい能力を十分に発揮できる現場(雇用)の創出、強力かつきめ細かなバックアップで将来輩出する人材を支援することを通して、理想の地域社会を大学教員も責任を持って構築していくことが重要となるであろう。

(出典:「高齢化社会を担う地域育成型歯学教育 教育 GP 事業報告書」より渡部氏の評価文を引用)

資料1-2-5 平成19～21年度の共通カリキュラム比較表

蔵本地区 大学院 教育部共通カリキュラム科目

H22.3.12 医療教育開発センター作成

	H 19	H 20	H 21	備 考
全専攻系 共通カリキュラム科目	生命倫理入門	生命倫理入門	生命倫理入門	
	臨床心理学	臨床心理学	臨床心理学	
	社会医学・疫学・医学統計入門	社会医学・疫学・医学統計入門	社会医学・疫学・医学統計入門	
	英語論文作成入門	英語論文作成入門	英語論文作成入門	
		心身健康と環境ストレス	心身健康と環境ストレス	H20 年度開設
			生命科学の研究手法	H21 年度開設
各専攻系間 共通カリキュラム科目	ヒューマンサイエンス(形態と機能学)	ヒューマンサイエンス(形態と機能学)	ヒューマンサイエンス(形態と機能学)	
		臨床薬理学入門		H18 年度臨床薬理学から改名、隔年開講
	微生物・免疫学入門実習	微生物・免疫学入門実習	微生物・免疫学入門実習	
	臨床医学入門	臨床医学入門	臨床医学入門	
	プロテオミクス概論	プロテオミクス概論	プロテオミクス概論	
	ゲノム創薬特論	ゲノム創薬特論	ゲノム創薬特論	
	ビタミン・栄養	ビタミン・栄養		H21 年度廃止
	健康食品・漢方	健康食品・漢方	健康食品・漢方	
臨床睡場学入門	臨床睡場学入門	臨床睡場学入門		
科目数	12	14	13	

(出典:平成21年度医療教育開発センター作成資料より抜粋)

資料1-2-6 「SUMMER PROGRAM 2009 Health Bioscience Course」のプログラム

LECTURE PROGRAM (「国際統合医療特論」の講義内容)						
Date	Time	Subject	Speaker	Location		
Cell and Tissue Culture (Graduate School of Oral Sciences)						
18th August	Tue	8:50 ~ 10:20	From Basic to Clinic	Prof. Tatsuji HANEJI	Lecture Room1 (Basic Research Building-B 1F, Medical School) in Kuramoto Campus	
		10:30 ~ 12:00	Application of cell culture experiments to oral Sciences	Prof. Toshihiko NAGATA		
		13:30 ~	Lab Tours			
Antibody Experiments in Biochemistry (Graduate School of Nutrition and Bioscience)						
19th August	Wed	8:50 ~ 10:20	1) Western blotting	Associate Prof. Yutaka TAKETANI	Lecture Room1 (Basic Research Building-B 1F, Medical School)	
		10:30 ~ 12:00	2) Immunoprecipitation experiment	Prof. Kenichi MIYAMOTO		
		Immunohistochemistry (Graduate School of Medical Sciences)				
		13:30 ~ 15:00	1) Basic techniques for immunological researches	Prof. Kazunori ISHIMURA	Lecture Room1 (Basic Research Building-B 1F, Medical School)	
15:10 ~ 16:40	2) Recent advances of immunological research	Associate Prof. Michihiro NAKAMURA				
Protein Experiments (Institute for Enzyme Research)						
20th August	Thu	8:50 ~ 10:20	1) Expression and Purification of Recombinant Proteins	Assist. Prof. Kazuko YORITA	Lecture Room1 (Basic Research Building-B 1F, Medical School)	
		10:30 ~ 12:00	2) Characterization and Proteomics Analysis	Prof. Kiyoshi FUKUI		
		13:50 ~	3) Crystallization and X-ray Crystallography			
Gene Analysis Techniques1 (Graduate School of Pharmaceutical Sciences)						
21st August	Fri	8:50 ~ 10:20	1) mRNA detection by Northern blotting and QRT-PCR/real-time PCR	Prof. Koji ITO	Lecture Room1 (Basic Research Building-B 1F, Medical School)	
			2) in situ hybridization	Associate Prof. Hiroyuki MIZUGUCHI		
		10:30 ~ 12:00	3) Assessment of promoter region by luciferase assay and gel shift assay			
		Gene Analysis Techniques2 (Institute for Genome Research)				
		13:30 ~ 15:00	1) Genome analysis of autoimmune diseases	Prof. Taku OKAZAKI	Lecture Room1 (Basic Research Building-B 1F, Medical School)	
	2) SNP analysis for identifying disease susceptibility in human	Prof. Mitsuo ITAKURA				
	3) Gene expression profiling and cancer drug discovery	Prof. Toyomasa KATAGIRI				
15:00 ~ 16:40	4) Real-time monitoring of endoplasmic reticulum stress signaling	Prof. Seiichi OYADOMARI				
17:00 ~	Commencement Ceremony					

(出典:「SUMMER PROGRAM 2009 Health Bioscience Course プログラム」より抜粋)

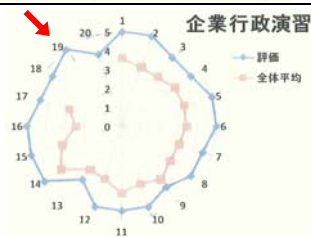
資料1-2-7 先端技術科学教育部 倫理観・国際観育成科目

博士前期課程	博士後期課程
ニュービジネス特論 技術経営特論 知的財産論 プレゼンテーション技法(M) 長期インターンシップ(M) 企業行政演習(M) 国際先端技術科学特論1 国際先端技術科学特論2	ニュービジネス特論 技術経営特論 知的財産論 プレゼンテーション技法(D) 生命科学 長期インターンシップ(D) 企業行政演習(D) 国際先端技術科学特論1 国際先端技術科学特論2

(出典:「先端技術科学教育部シラバス」より抜粋)

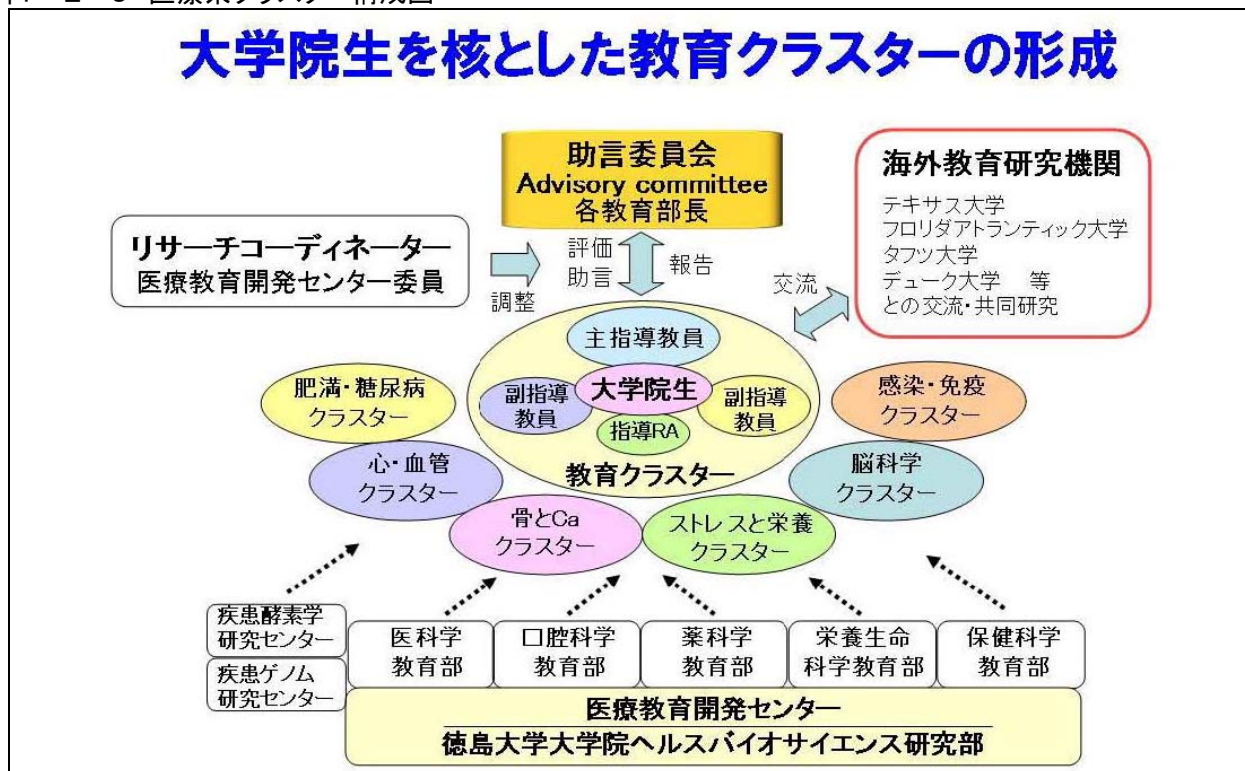
資料1-2-8 「技術経営特論」「企業行政演習」の授業評価アンケート結果

技術経営特論	さらに本科目が「倫理観」と「国際感覚」の涵養に関わる科目との認識から、下表のような設問 No. 19, 20 に対するアンケートを実施した。その結果、 <u>No. 19 「倫理観」 = 4.7</u> 、また No. 20 「国際感覚」 = 3.9 となり、受講生はこの授業を通して特に「倫理観」を養成できたと感じていることが分かった。
企業行政演習	1) No. 1~17 では、すべて全体平均を大きく上回っており、かつ両者の形状は類似している。 2) No. 18 「総合評価」は 4.5 であり学生の満足度はかなり高いと考えられる。またこのことは評点の割合を示す棒グラフにおいて評点 4 以上が 95% 強であることから推測できる。 3) No. 19 「倫理観」と No. 20 「国際感覚」の評点から、受講生はこの授業を通して特に「倫理観」を養成できたと感じている。



(出典:「国際観・倫理観育成科目「技術経営特論」「企業行政演習」の授業評価アンケート結果」より抜粋)

資料1-2-9 医療系クラスター構成図



(出典:徳島大学ホームページより抜粋)

資料1-2-10 医療系クラスターによる月例セミナーの実施状況

開催年月日	テーマ数	医学		歯学		薬学		栄養学		保健学		酵素		ゲノム	
		学生	学生以外	学生	学生以外	学生	学生以外	学生	学生以外	学生	学生以外	学生	学生以外	学生	学生以外
4月27日	6	5	15	5	7	8	8	1	2	1	0	2	0	0	0
5月25日	4	0	5	2	5	1	8	6	3	0	0	0	0	0	0
6月29日	6	0	21	2	6	1	3	1	4	1	1	0	0	0	0
7月27日	6	2	10	0	8	0	1	4	1	0	8	0	0	0	0
9月28日	6	1	10	3	7	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0
10月26日	6	2	9	2	6	1	4	3	5	1	9	0	0	0	0
11月30日	5	2	3	3	5	3	10	0	0	1	3	0	0	0	0
1月25日	5	2	10	2	9	0	2	3	0	0	3	0	0	0	0
2月22日	5	0	6	0	8	0	1	3	13	0	2	0	0	0	0

(出典:「月例セミナー実施報告」より開催年月日, テーマ数, 参加人数を集計)

資料1-2-11 「2009 Tokushima Bioscience Retreat」参加者アンケート結果

回答数 41名 (学生 33 教員 8)

Q1.他の分野の人と交流ができたか	よくできた←	17	21	2	1	0	→できなかった
Q2.日頃の研究の成果が発表できたか(学生のみ)	よくできた←	5	21	4	2	0	→できなかった
Q3.開催地は?	とてもよかった←	26	14	1	0	0	→よくなかった
Q4.宿泊ホテルは?	とてもよかった←	25	14	2	0	0	→よくなかった
Q5.参加費は?(開催時 学生 2000円, 教員 5000円)	高い←	0	35	6	→安い		
Q6.研究会発表は?	とてもよかった←	17	22	2	0	0	→よくなかった
Q7.懇親会, パーベキューは?	とてもよかった←	21	19	0	0	0	→よくなかった
Q8.研究奨励制度について	とてもよい←	22	11	6	0	0	→よくない
Q9.特別賞(学生投票)について	とてもよかった←	24	11	5	0	0	→よくなかった
Q10.よかったもの(複数回答)	(省略)						
Q11.来年の開催について	ぜひ開催←	28	8	5	0	0	→開催しない

(出典:「2009 Tokushima Bioscience Retreat 実施報告書」より抜粋)

資料1-3-1 統一化後のシラバス(例示)

全学共通教育(2009) 後期(昼間コース)【基礎科目群】(基礎物理学)

基礎物理学 (Basic Physics)
基礎物理学Ⅰ・力学概論 (Mechanics) (工(知))
日置 善郎 教授
2単位 後期 金 7・8

(平成19年度以前の授業科目:「基礎物理学」)(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:「基礎物理学」)

【授業の目的】 力学は現代科学の基礎である物理学の出発点である。この講義の目的は、その力学の基本的な構成をわかりやすく解説することである。

【授業の概要】 力学を記述するために必要なベクトルおよびその微分積分を整理し、力学の基礎である運動の法則を学ぶ。次にその応用を通じて理解を深め、力学的エネルギー保存則へと話を進める。続いて、角運動量とそれを土台とした惑星の運動を扱ったのち、より現実的な題材である多体系および剛体の力学の初歩を解説する。

【キーワード】 ベクトル、運動の法則、運動方程式、運動量保存則、力学的エネルギー保存則、角運動量保存則、剛体

【先行科目】 「基礎数学/微分積分Ⅰ」(1.0)、「高大接続科目/数学」(1.0)、「高大接続科目/物理学」(1.0)

【関連科目】 「基礎数学/微分積分Ⅱ」(0.5)

【到達目標】

1. 運動方程式を理解し、その簡単な応用が出来るようになること。
2. 運動量、力学的エネルギー、角運動量とその保存則について理解すること。
3. 多体系および剛体の運動を扱う基本的な方法を理解すること。

【授業の計画】

1. 物理量とベクトル
2. 運動の法則
3. 運動量保存則・力積
4. 自由落下(空気抵抗のない場合)
5. 自由落下(空気抵抗がある場合)
6. 放物運動
7. 単振動
8. 仕事とエネルギー
9. 偏微分と全微分
10. 力学的エネルギー保存則
11. ベクトル積(外積)と角運動量
12. 角運動量保存則
13. 惑星の運動

14. 多体系と剛体の力学
15. 期末試験
16. 総括授業

【教科書】 自製テキスト使用(詳しい説明は第1回目に行う)

【成績評価の方法】 レポート・小テスト・受講態度・期末試験を総合して判定する。詳しい説明は第1回目の講義において行う。なお、言うまでもないことだが、講義中の私語・携帯電話の使用などは厳禁する。これが守れない受講者は、その時点までの成績には一切無関係に、その場で再受講とする。

【再試験の有無】 有(但し、不合格者全員が自動的に対象となる訳ではない)

【履修へのメッセージ】 高校で物理を履修していれば理解しやすいことは間違いないが、しかしそのような予備知識は前提としない。但し、微分・積分の基本については、全員既習として話を進める。何らかの理由で、微積分の勉強をしていない学生は、必ず前もって自習しておくこと。

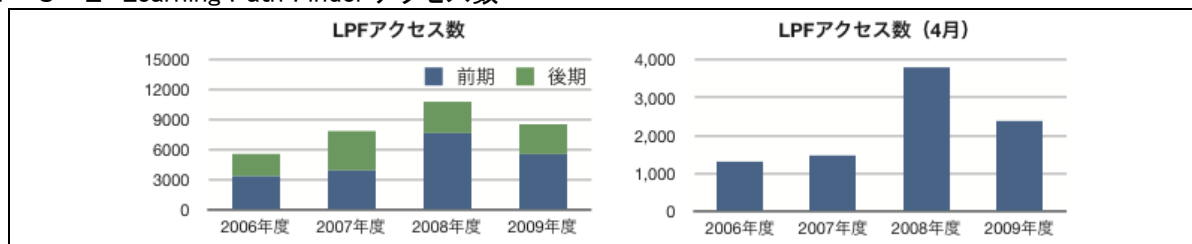
【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185627>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】
⇒ 日置(総合科学部3号館1N04号室, 088-656-7234, hioki@ias.tokushima-u.ac.jp) Mail(オフィスアワー:火曜日 11:50~13:00(質問などは在室中ならいつでも可))

- 688 -

(出典:「平成21年度 全学共通教育授業概要」より抜粋)

資料1-3-2 Learning Path Finder アクセス数



(出典:全学共通教育, 総合科学部, 工学部の講義室予約システムデータより作成)

資料1-4-1 現代 GP「豊饒な吉野川を持続可能とする共生環境教育」に対する新聞報道

掲載年月日	報道機関	掲載面	タイトル	文字数
18年4月29日	徳島新聞 Web		花のパッチワーク始動 吉野川の善入寺島、ヒマワリ種まき	156
18年7月28日	徳島新聞	朝刊 26	徳大の2学部選ぶ 文科省公募、全国で112件	737
19年2月20日	徳島新聞	朝刊 29	吉野川流域の歴史・文化探る	404
19年9月14日	徳島新聞	朝刊 26	「ごみゼロ」イベント	939
19年11月10日	徳島新聞	朝刊 27	森林再生など討議 徳島大学公開セミナー 市民ら80人参加	388
20年1月18日	徳島新聞	朝刊 25	徳大 連続公開講座始まる	524
20年2月11日	徳島新聞	朝刊 8	徳島大 連続公開講座	1555
20年2月12日	徳島新聞	朝刊 10	徳島大 連続公開講座	1821
20年6月18日	徳島新聞	朝刊 3	徳島大 社会創世学科を新設 来年度環境共生など3コース	898
20年8月26日	日刊工業新聞	朝刊 25	流域周辺の歴史と文化探る 全学部生が体験学習	1027
20年12月19日	徳島新聞	朝刊 3	徳島大総合科学部 博士課程を新設へ 専攻 地域科学と臨床心理学	765
21年1月21日	徳島新聞	朝刊 3	徳大総科部大学院に期待	421
21年3月1日	徳島新聞	朝刊 31	吉野川との共生探る 徳大で環境フォーラム	370
21年3月3日	徳島新聞	朝刊 27	吉野川との共生を提言 徳島大公開講座	369

(出典:各種新聞記事より抜粋)

資料1-6-1 徳島大学平成20年度全学FD実施計画

FD推進プログラム	対象者	内容・方法等	開催時期・場所
FDファシリテータ養成研修	各学部FD委員会委員、全学共通教育センターFD担当者及び医療教育開発センター教員とし、各一部局FDを企画・実施できる資質形成を図る。	各一部局のFDニーズを把握し、学部等FDプログラムの作成・評価の過程を体得する。	6月21日(土)・22日(日)(泊2日)・独立行政法人国立淡路青少年交流の家
全学共通教育担当教員初任者研修	共通教育を担当する若手教員及び希望者	共通教育における教授法の検討と研修(教育についての基礎知識、Active learningやStudy skills 育成の手法などのレクチャー、ワークショップ等)を実施。その後、授業参観の機会を提供してもらい、さらに、ビデオ録画した授業をもとにして、大学開放実践センター教員が中心となり授業改善のためのコンサルティングを行う。対象教員の同意を得た場合、授業研究会とし、他の教員との共同研修の機会とする。	随時・授業研究インテリジェントラボ等
共通教育FDとくどくセミナー	共通教育担当者及び希望者	共通教育特有の課題解決を目指してレクチャー、ワークショップ等を行う。テーマは「active learning の手法」「大人教授の方策」「PPTの使い方」「理系授業の進め方」など。	随時
FDラウンドテーブル	教育改善に関心のある全教職員・学生	日常の教育活動全般に関する情報交換、自己学習促進の方法、教養科目と専門科目の接続・連携、欧米高等教育事情など	アフターファイブ等・授業研究インテリジェントラボ等
徳島大学教育カンファレンス	全学の教職員・学生及び学外の教員	教員等による教育改善の取り組みの発表	
教育の質を向上させるための学生ワーキンググループへの支援と協働			
『大学教育研究ジャーナル』第6号の発行			平成21年3月末

(出典:「徳島大学平成20年度全学FD実施計画」より抜粋)

資料1-6-2 2008年度・2009年度徳島大学全学FD推進プログラムの実施状況

	FD推進プログラム	実施年月日	参加者等
平成20年度	FDファシリテータ養成研修	平成20/6/21～22	学部FD委員等13名、学外講師等3名、運営メンバー8名
	全学共通教育担当教員初任者研修	平成20/9/19～20	教員4名、職員12名、運営メンバー6名、学外講師等3名、オブザーバ1名
	共通教育FDとくどくセミナー	平成20/8/29, 9/5, 9/26, 10/3	10名(8/29), 14名(9/5), 7名(9/26), 7名(10/3)
	FDラウンドテーブル	平成20/5/22, 7/4, 11/28 平成21/3/13	9名(5/22), 12名(7/4), 19名(11/28), 5名(3/13)
	教育の質を向上させるための学生WG	平成20年度中9回開催	
	徳島大学教育カンファレンス	平成21/1/21	口頭発表19件、ポスター発表8件 参加者学内98名、学外12名
平成21年度	FDファシリテータ養成研修	平成21/6/27～28	学部FD委員等13名、T-POD及びSPOD東四国11名、学外講師等4名、運営メンバー10名
	教育力開発基礎プログラム	平成21/8/10～11	教員15名、大学院生3名、運営メンバー11名、オブザーバ1名
	共通教育FDとくどくセミナー	平成21/8/28, 9/4, 9/18, 9/25	13名(8/28), 8名(9/4), 13名(9/18), 18名(9/25)
	FDラウンドテーブル	平成21/5/28, 7/22, 11/13 平成22/1/22	11名(5/28), 14名(7/22), 13名(11/28), 9名(1/22)
	徳島大学教育カンファレンス	平成22/3/3	口頭発表18件、ポスター発表9件 参加者学内86名、学外13名

(出典:「2008年度徳島大学全学FD推進プログラムの実施報告」,「2009年度(同)」より抜粋)

資料1-7-1 入学料免除及び授業料免除の取扱いについて

入学料免除及び授業料免除の取扱いについて(申合せ)

平成19年6月11日一部改正
平成20年5月19日改正
学 生 委 員 会

	免除の総額	選 考 方 法	備 考
入 学 料 免 除	<ul style="list-style-type: none"> 学部に入学者に係る入学料収入予定額の0.5%に相当する額 大学院の研究科・教育部に入学者に係る入学料収入予定額の4%に相当する額 	1) 「入学料免除の取扱いについて」(平成14年12月26日付け14文科高第664号高等教育局長通知)に基づき実施することとし、入学料免除の総額の範囲内で、基準適格者の選考順位の上位者から半額免除とし、残額が生じる場合は、残額の範囲内で、選考上位の者から全額免除とする。2) 学部生及び大学院生の免除可能額と各々の基準適格者の免除実施可能額に過不足が生じた場合は、調整ができるものとする。	2) 学部生及び大学院生の免除可能額と各々の基準適格者の免除実施可能額に過不足が生じた場合は、調整ができるものとする。
授 業 料 免 除	授業料の収入予定額の5.8%に相当する額	「授業料免除の取扱いについて」(平成15年2月26日付け14文科高第783号高等教育局長通知)に基づき実施することとし、授業料免除の総額の範囲内で、基準適格者の選考順位の上位者から半額免除とし、残額が生じる場合は、残額の範囲内で、選考上位の者から全額免除とする。	

(出典:平成20年5月19日「入学料免除及び授業料免除の取扱いについて(申合せ)」)

資料1-7-2 第2回大学院生生活実態調査報告

2-9 奨学金 (図2-9-1, 図2-9-2)

前期課程の学生は、「現在受給中であるが、更に希望する」と「現在受給していないが、希望する」の2つをあわせると、奨学金を希望する学生が約半数である。これに対して、後期課程では奨学金を希望する学生が61%となり増加している。研究科・教育部の比較では、医科学と保健科学において、奨学金を希望する学生が少ない。これは、2つの教育部門とも社会人学生が多いことによる。また、口腔科学では「現在受給中であるが、更に希望する」の割合が多い。留学生は、83%が「現在受給中であるが、更に希望する」と回答しており、「現在受給していないが、希望する」も16%あった。

図2-8-1 1ヶ月の平均支出額

支出額	人間・自然環境	医科学	薬科学	栄養生命科学	保健科学	先端技術科学	全体
3万円未満	16	12	11	12	5	21	18
3~5万円未満	29	6	32	24	21	16	26
5~7万円未満	18	24	9	21	11	21	20
7~10万円未満	27	18	25	21	16	21	21
10~15万円未満	7	12	4	5	11	21	12
15~20万円未満	2	6	21	21	5	11	12
20~25万円未満	0	0	0	0	0	0	0
25~30万円未満	0	0	0	0	0	0	0
30万円以上	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0

図2-8-2 1ヶ月の平均支出額

支出額	医科学	口腔科学	薬科学	栄養生命科学	保健科学	先端技術科学	全体
3万円未満	4	11	29	11	5	11	5
3~5万円未満	13	6	14	26	13	15	13
5~7万円未満	21	28	7	20	17	24	18
7~10万円未満	5	14	29	37	20	20	20
10~15万円未満	12	26	14	20	17	20	17
15~20万円未満	9	14	7	20	4	12	12
20~25万円未満	12	7	21	21	4	4	4
25~30万円未満	9	14	7	21	4	4	4
30万円以上	12	7	7	21	5	5	5
無回答	0	0	0	0	0	0	0

(出典:「第2回大学院生生活実態調査報告書」第2章2-9奨学金より抜粋)

資料1-7-3 徳島大学ゆめ奨学金実施規則

○ 徳島大学ゆめ奨学金実施規則		平成21年2月24日 規則第79号制定
(趣旨)		
第1条 この規則は、徳島大学大学院博士後期課程(医科学教育部及び口腔科学教育部の博士課程を含む。以下「博士後期課程」という。)に在学する学生に対して、授業料に充当する奨学金の給付によって、社会の様々な分野において活躍できる優秀な人材の育成と大学院教育の充実を図るため、徳島大学ゆめ奨学金(以下「奨学金」という。)の実施に関し必要な事項を定めるものとする。		
(財源)		
第2条 奨学金の財源は、寄附金等の予算を充てるものとする。		
(対象者)		
第3条 奨学金の給付対象となる者は、博士後期課程に在学する学生のうち、授業料の免除を受けていない者とする。 ただし、国費外国人留学生、外国政府派遣留学生、授業料を相互に徴収しないことを定めた大学間交流協定に基づく外国人留学生、日本学術振興会特別研究員に採用された者、返還義務のない奨学金(授業料の年額以上の金額を給付されている者に限る。)を受けている者及び社会人学生で授業料を会社等が負担している者は給付対象としない。		
(奨学金の給付)		
第4条 奨学金は、前期及び後期の各学期ごとに給付者を選考し、給付する。2 奨学金の給付金額は、前期及び後期の授業料の額の半額に相当する額とする。3 奨学金の給付者数は、原則として、各教育部ごとに前条に定める対象者数の7割とする。		
(申請)		
第5条 奨学金の給付を希望する者は、徳島大学ゆめ奨学金申請書(別紙様式)に必要な書類を添付し、所定の期日までに学長に申請するものとする。		
(選考)		
第6条 選考の基準については、別に定める。		
(奨学金の返還義務)		
第7条 奨学金の返還義務は課さないものとする。		
(事務)		
第8条 奨学金に関する事務は、学務部学務課と各教育部事務部が連携・協力して処理する。		
附 則		
この規則は、平成21年4月1日から施行し、平成21年度の博士後期課程の入学から適用する。		

(出典:「徳島大学ゆめ奨学金実施規則」)

資料1-7-4 平成21年度徳島大学ゆめ奨学金給付者数

教育部名	H21.4.1 入学者数	前 期				平21年度 入学者数	後 期			
		対象者数	推薦枠数	推薦者数	給付者数		対象者数	推薦枠数	推薦者数	給付者数
総合科学教育部	7	5	3	2	2	7	5	3	3	3
医科学教育部	39	35	24	22	22	47	37	26	23	23
口腔科学教育部	15	13	9	11	11	20	11	8	9	9
薬科学教育部	12	7	5	4	4	14	5	3	4	4
栄養生命科学教育部	7	7	5	5	5	11	8	6	6	6
保健科学教育部	6	6	4	4	4	6	6	4	4	4
先端技術科学教育部	25	11	8	4	4	42	19	13	13	13
合計	111	84	58	52	52	147	91	63	62	62

(出典:「平成21年度 前期分 徳島大学ゆめ奨学金 給付者数」, 同「後期分」より抜粋)

資料1-8-2 平成21年度スキルス・ラボ利用状況

部屋	件数	延べ時間	延べ人数	利用目的など
1A	53	358:15	2147	ACLS ワークショップ開催, CV 講習会, ICLS 講習会, OSCE, OSCE 前練習開放, オープンスキルスラボ (OSCE前実習), クリクラ, スキルス・ラボ見学会, 看護学科 実習, 看護師新人研修, 基本的診療技能実習, 研修医 救急蘇生教育, 呼吸音聴取, 講義, 新スキルス・ラボ開設記念 FD 事業, 新人研修 多重業務, 人工呼吸器講習会, 生理機能演習, 生理機能演習準備, 第34回組織細胞科学講習会, 徳島県高校生 医学体験研修, 徳島文理高校 医学体験研修, 内科診断学実習, 勉強会の予行演習
1B	54	354:45	2176	ACLS ワークショップ開催, ACLS 講習会, CV 講習会, ICLS 講習会, OSCE, OSCE 前練習開放, オープンスキルスラボ (OSCE前実習), クリクラ, スキルス・ラボ見学会, 看護学科 実習, 看護師新人研修, 基本的診療技能実習, 研修医 救急蘇生教育, 呼吸音聴取, 講義, 新スキルス・ラボ開設記念 FD 事業, 新人研修 多重業務, 人工呼吸器講習会, 生理機能演習準備, 第34回組織細胞科学講習会, 徳島県高校生 医学体験研修, 徳島文理高校 医学体験研修, 内科診断学実習, 部署内急変対応研修, 部署内研修, 勉強会の予行演習
2	63	379:40	2437	ACLS ワークショップ開催, ACLS 講習会, CV 講習会, ICLS 講習会, OSCE, OSCE 前練習開放, インターベンションシミュレーショントレーナーでの医療技術トレーニング, オープンスキルスラボ (OSCE前実習), クリクラ, スキルス・ラボ見学会, 看護学科 実習, 看護師新人研修, 看護職員確保モデル事業・実務研修, 基本的診療技能実習, 研修医 救急蘇生教育, 研修医教育講座 縫合実習, 講義, 新スキルス・ラボ開設記念 FD 事業, 新採研修実施の為に打ち合わせ, 新人研修 多重業務, 人工呼吸器講習会, 成人援助Ⅱ・演習, 挿管の練習, 第34回組織細胞科学講習会, 中国・四国広域がんブロ養成コンソーシアム, 徳島県高校生 医学体験研修, 徳島文理高校 医学体験研修, 内科診断学実習, 勉強会
3	46	158:35	875	OSCE, OSCE医療面接SP練習, OSCE評価者講習 医療面接, SPさん勉強会, SP 講習会, インターベンションシミュレーショントレーナーでの医療技術トレーニング, オープンスキルスラボ (OSCE前実習), 学生実習, 看護師新人研修, 基本的診療技能実習, 研修医 救急蘇生教育, 歯学部 OSCE 打ち合わせ, 新スキルス・ラボ開設記念 FD 事業, 人工呼吸器講習会, 成人援助Ⅱ・演習, 中国・四国広域がんブロ養成コンソーシアム, 徳島県高校生 医学体験研修, 徳島文理高校 医学体験研修, 内科診断学実習, 薬学院実習 FD WG
4	47	252:30	1617	ACLS ワークショップ開催, ACLS 資料作成, OSCE, OSCE医療面接SP練習, OSCE 前練習開放, オープンスキルスラボ (OSCE前実習), スキルス・ラボ見学会, 看護学科 実習, 看護師新人研修, 基本的診療技能実習, 歯学部 OSCE 打ち合わせ, 新スキルス・ラボ開設記念 FD 事業, 人工呼吸器講習会, 成人援助Ⅱ・演習, 中国・四国広域がんブロ養成コンソーシアム, 内科診断学実習
第三会議室	52	291:15	1809	ACLS ワークショップ開催, ACLS 講習会, AED 使用法を学ぶ (蔵本祭模擬病院で使用するため), CV 講習会, ICLS 講習会, OSCE, SP 会, SP 研修, シミュレーション医療教育講習会, ルンパール講習会, 医学体験実習の予行演習, 看護学科 実習, 看護師新人研修, 看護職員確保モデル事業・実務研修, 基本的診療技能実習, 救急蘇生実習, 経腸栄養 実技, 講義, 心臓縫合レクチャー, 新スキルス・ラボ開設記念 FD 事業, 新人研修 多重業務, 人工呼吸器講習会, 成人援助Ⅱ・演習, 徳島県高校生 医学体験研修, 徳島文理高校 医学体験研修, 内科診断学実習, 勉強会の予行演習
第四会議室	26	186:00	905	ACLS ワークショップ開催, ACLS 講習会, CV 講習会, ICLS 講習会, SP 研修, シミュレーション医療教育講習会, ルンパール講習会, 看護学科 実習, 看護師新人研修, 救急蘇生実習, 講義, 心臓縫合レクチャー, 新スキルス・ラボ開設記念 FD 事業, 新人研修 多重業務, 人工呼吸器講習会, 成人援助Ⅱ・演習, 徳島県高校生 医学体験研修, 徳島文理高校 医学体験研修, 勉強会の予行演習

(出典:「平成21年度 徳島大学スキルス・ラボ利用状況」より利用件数, 時間, 延べ人数を抽出)

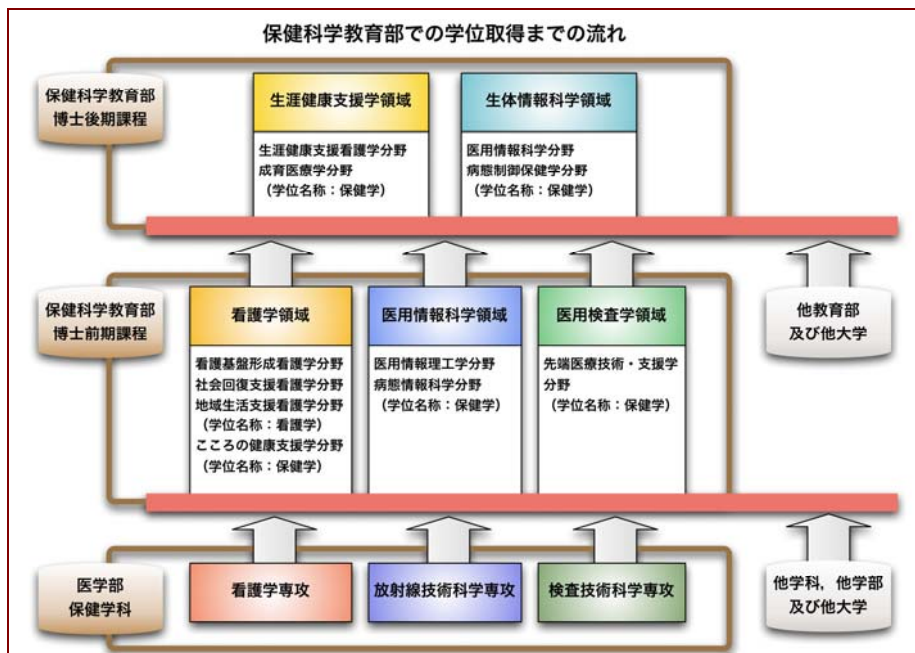
資料1-8-3 「チーム医療入門」2009年度 学生による自己評価結果

質問内容	看護専攻	薬学部	口腔保健学科	歯学科	医学科
積極的に参加できたか?(5段階)	71%	71%	100%	85%	77%
今回参加して自分自身の改善すべき点に気が付きましたか?(Yes/No)	97%	92%	100%	86%	89%
医師に対するイメージが変わった?(Yes/No)	61%	81%	100%	72%	82%
薬剤師に対するイメージが変わった?(Yes/No)	60%	90%	66%	57%	48%
看護師に対するイメージが変わった?(Yes/No)	87%	68%	67%	57%	67%
歯科医に対するイメージが変わった?(Yes/No)	84%	88%	100%	100%	85%
歯科衛生士に対するイメージが変わった?(Yes/No)	90%	88%	100%	100%	93%
このWSはよかった?(5段階)	84%	74%	100%	100%	73%
学部学科横断的なチーム医療教育は必要と思うか?(必要/不要/分からない)	89%	84%	100%	100%	98%

数値は肯定的回答(5段階の場合には≧4, Yes/NoはYes, 必要/不要/分からないは必要)の割合を示す。

(出典:「チーム医療入門2009自己評価シート」より数値を集計)

資料1-9-1 保健学科・保健科学教育部の教育体系



(出典:医学部保健学科作成資料より抜粋)

資料1-9-2 保健学科・保健科学教育部 取得可能免許・資格

学科等	専攻	学位	資格	(注1)保健師国家試験に合格すると、申請するだけで「養護教諭二種免許」が与えられます。さらに、平成20年4月入学生からは「養護教諭一種免許」を得ることができます。(ただし、人数制限があります)
保健学科	看護学専攻	学士(看護学)	看護師、保健師 ^(注1) 国家試験受験資格	
	放射線技術科学専攻	学士(保健学)	診療放射線技師 国家試験受験資格	
	検査技術科学専攻	学士(保健学)	臨床検査技師 国家試験受験資格	
保健科学教育部 博士前期課程	看護学領域	修士(看護学) 修士(保健学)	がん看護専門看護師認定審査受験資格	
	医療情報科学領域	修士(保健学)	医学物理士認定試験受験資格	
	医用検査学領域	修士(保健学)	養護教諭専修免許 生殖補助医療胚培養士	
保健科学教育部 博士後期課程	保健学専攻	博士(保健学)	—	—

(出典:「徳島大学医学部 取得可能免許・資格」より抜粋)

資料1-9-3 保健学科・保健科学教育部 免許・資格取得者数(平成20年度)

学科等	資格	受験者	合格者	合格率
保健学科	看護師免許	81人	80人	98.3%
	保健師免許	92人	92人	100.0%
	診療放射線技師免許	39人	36人	92.3%
	臨床検査技師免許	15人	15人	100.0%
保健科学教育部 博士前期課程	がん看護専門看護師認定審査	—人	—人	—
	医学物理士免許	3人	1人	33.3%
	養護教諭専修免許	—人	—人	—
	生殖補助医療胚培養士免許	2人	2人	100.0%

(出典:徳島大学医学部「各種国家試験の合格者数」より抜粋)

資料1-9-4 保健科学教育部入学状況

	平成 18 年度			平成 19 年度			平成 20 年度			平成 21 年度		
	入学定員	入学者数	充足率(%)	入学定員	入学者数	充足率(%)	入学定員	入学者数	充足率(%)	入学定員	入学者数	充足率(%)
博士前期課程	14	17	121.4	14	14	100.0	14	20	142.9	14	21	150.0
博士後期課程							5	5	100.0	5	6	120.0

平成 20 年 10 月 1 日 博士前期課程 2 名転教育部生受入, 平成 20 年 10 月 1 日 博士後期課程 1 名転教育部生受入

(出典:「徳島大学大学院 保健科学教育部入学状況」)

資料1-10-1 寮の改修等に関する予算執行状況

年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
執行額(千円)	2,940	4,568	9,959	0	0	52,552

(出典:施設マネジメント部予算執行状況資料より)

資料1-10-2 晨鐘寮・藍香寮・友朋寮からの要望事項等についての実施状況(平成 20, 21 年度)

【晨鐘寮・藍香寮・友朋寮からの要望事項等についての実施状況(平成20年度)】

寮名	要望内容及び改修希望箇所	実施状況等
晨鐘寮	ドアが下がりカギがかかりにくい	合計8部屋あり。施設Mに視察依頼し修繕改修済み。
	風呂のタイルが剥げ陥没	陥没部分を修繕済み。
	風呂の排水溝枠が部分的に取れかけている	大掛かりな改修が必要ため保留中。
	1階捕食室換気扇不備で煙りがこもる	構造上の問題で現時点では保留中。
	害虫(ムカデなど)の対策	建物の周りに石灰等をまくなど対策を助言。
	(梅雨の時期)湿気が多い為、壁にカビが付着	雑巾で湿気を拭きとるなどの対応をする。学務課で定期的に除湿剤を購入する。
	洗濯機が古い為脱水が出来ない	4/25 購入済み。
1階のオーブントースター購入希望	5/29 購入済み。	
晨鐘寮・藍香寮	風呂のフタが一部腐食した上、重いので軽い物に交換	H22.2 購入済み。
藍香寮	浴室シャワーのお湯が出にくい	H21.8 シャワーの交換済み
	台所用水切ラック(シンク掛けタイプ)購入希望	6/12 購入対応済み。
友朋寮	雨の日玄関入口に水溜まりが出来足が浸かる	モルタルを塗り改修済み。
	網戸の補修(居室2部屋と2階3階捕食室)	網戸合計6枚貼り替え済み。
	サッシが閉まりにくい(居室1部屋)	アルミサッシ車交換済み。
	風呂のタイル剥がれている所が数カ所あり	タイル補修済み。
	居室の壁紙の剥がれ、汚れ(合計5室)あり、張替希望。	施設Mに相談するも、大掛かりな改修が必要ため保留中。
	談話室のドア閉閉時大きい音がする	音消しパッキン取付済み。
	庭木カイズカ薊込(雑木撤去共)	撤去改修済み。
	オーブントースター購入希望	6/24 購入対応済み。
風呂のタイルの目地が着色し清掃しても落ちない	共通部分の全面改修工事(H21. 3まで)に併せ改善予定	

【晨鐘寮・藍香寮・友朋寮からの要望事項等についての実施状況(平成21年度)】

寮名	要望内容及び改修希望箇所	実施状況等
晨鐘寮	シャワーの修理(1基)	H21年4月シャワー水栓(サーモスタット付)取替工事済
	冷蔵庫修理	修理済
	オーブントースター購入希望	H21年4月購入済
	洗濯機排水部分がドロドロになっている	寮生と用務員が掃除し、その後改善された
	1階のトイレが詰まりやすい	H22年1月1階小便器排水補修工事実施済
	2階の配管の流が悪い	配管清掃。経過観察中
藍香寮	冷蔵庫購入	修理不可のため、H21年4月新規に購入
	空調機の不具合	修理済
	電子レンジ故障	修理不可のため、H21年9月買い換え
	ベッドの量交換してほしい	視察の結果、特に交換が必要とする物は無し。
洗濯機不具合により購入希望	H21年9月晨鐘寮・藍香寮へ各1台購入	
友朋寮	いたずら電話が架かってくるため、対策してほしい	いたずら電話対応の電話機に買い換え、H21年9月取付け完了
	玄関ドアの閉まりが悪く、きちんと閉まらない事がある	施設Mを通じて業者を手配し修理済み
	空調機の不具合	修理済
	共用部分の壁にシミがたたくさんある為補修希望	共通部分の全面改修工事(H21. 3まで)に併せ改善予定
	衣類乾燥機が4台とも故障している	視察の結果、故障はしていない。代表者へ使用可能と連絡済。(H22年2月1台買い換え)
	部屋のクロスがはがれているため修繕希望	現在保留中

(出典:「晨鐘寮・藍香寮・友朋寮からの要望事項等についての実施状況(平成 20 年度)」同(平成 21 年度))

資料1-11-1 英語による大学院工学教育コース(博士前期・後期課程)の学生募集要項

<p style="text-align: center;">平成21年度4月入学 徳島大学大学院先端技術科学教育部における英語による 大学院工学教育コース(博士前期課程)の学生募集要項</p> <p>徳島大学大学院先端技術科学教育部は、外国連携大学であるオークランド大学(ニュージーランド)、慶北大学校(韓国)、韓国海洋大学校(韓国)、ハルビン工業大学(中国)、同濟大学(中国)、西安交通大学(中国)、北京郵電大学(中国)、大連理工大学(中国)の8大学と共同してグローバルな高度専門技術者の育成を目的に国際的な工学教育コンソーシアムを構築し、英語のみで修了可能な大学院工学教育コースを開設することになりました。</p> <p>本コースは、次の3つの教育目標を掲げています。</p> <p>(I) 国際コミュニケーション力を持ち、グローバルに活躍できる高度技術者の育成</p> <p>(II) 先端研究に果敢に挑戦できる高度技術者・研究者の育成</p> <p>(III) 産学連携による問題解決型研究や実践的研究開発ができる高度技術者の育成</p> <p>本コースの学生は、上記8大学のいずれかの外国連携大学大学院及び徳島大学大学院先端技術科学教育部に籍を置き、両大学の指導教員の指導のもと、両大学からの修士の学位の取得を目指します。</p> <p>本募集要項は、徳島大学大学院先端技術科学教育部における英語による大学院工学教育コース(博士前期課程)の学生を選抜するものです。本要項に従って、英語による大学院工学教育コース(博士前期課程)に入学が認められた外国連携大学の学生は、徳島大学の正規学生として入学することができます。</p> <p>1. 博士前期課程の募集人員</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">専攻名</th> <th style="width: 10%;">人員</th> <th style="width: 70%;">コース名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知的力学システム工学専攻</td> <td>若干人</td> <td>建設創造システム工学コース 機械創造システム工学コース</td> </tr> <tr> <td>環境創生工学専攻</td> <td>若干人</td> <td>化学機能創生コース 生命テクノサイエンスコース エコシステム工学コース</td> </tr> <tr> <td>システム創生工学専攻</td> <td>若干人</td> <td>電気電子創生工学コース 知能情報システム工学コース 光システム工学コース</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 出願資格外国連携大学大学院博士後期課程に在籍している者、または入学を許可されている者。</p> <p>なお、出願資格の最終認定は徳島大学大学院学則に則り行われる。</p>	専攻名	人員	コース名	知的力学システム工学専攻	若干人	建設創造システム工学コース 機械創造システム工学コース	環境創生工学専攻	若干人	化学機能創生コース 生命テクノサイエンスコース エコシステム工学コース	システム創生工学専攻	若干人	電気電子創生工学コース 知能情報システム工学コース 光システム工学コース	<p style="text-align: center;">平成21年度4月入学 徳島大学大学院先端技術科学教育部における英語による 大学院工学教育コース(博士後期課程)の学生募集要項</p> <p>徳島大学大学院先端技術科学教育部は、外国連携大学であるオークランド大学(ニュージーランド)、慶北大学校(韓国)、韓国海洋大学校(韓国)、ハルビン工業大学(中国)、同濟大学(中国)、西安交通大学(中国)、北京郵電大学(中国)、大連理工大学(中国)の8大学と共同してグローバルな高度専門技術者の育成を目的に国際的な工学教育コンソーシアムを構築し、英語のみで修了可能な大学院工学教育コースを開設することになりました。</p> <p>本コースは、次の3つの教育目標を掲げています。</p> <p>(I) 国際コミュニケーション力を持ち、グローバルに活躍できる高度技術者の育成</p> <p>(II) 先端研究に果敢に挑戦できる高度技術者・研究者の育成</p> <p>(III) 産学連携による問題解決型研究や実践的研究開発ができる高度技術者の育成</p> <p>本コースの学生は、上記8大学のいずれかの外国連携大学大学院及び徳島大学大学院先端技術科学教育部に籍を置き、両大学の指導教員の指導のもと、両大学からの博士の学位の取得を目指します。</p> <p>本募集要項は、徳島大学大学院先端技術科学教育部における英語による大学院工学教育コース(博士後期課程)の学生を選抜するものです。本要項に従って、英語による大学院工学教育コース(博士後期課程)に入学が認められた外国連携大学の学生は、徳島大学の正規学生として入学することができます。</p> <p>1. 博士後期課程の募集人員</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">専攻名</th> <th style="width: 10%;">人員</th> <th style="width: 70%;">コース名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知的力学システム工学専攻</td> <td>若干人</td> <td>建設創造システム工学コース 機械創造システム工学コース</td> </tr> <tr> <td>環境創生工学専攻</td> <td>若干人</td> <td>化学機能創生コース 生命テクノサイエンスコース エコシステム工学コース</td> </tr> <tr> <td>システム創生工学専攻</td> <td>若干人</td> <td>電気電子創生工学コース 知能情報システム工学コース 光システム工学コース</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 出願資格外国連携大学大学院博士後期課程に在籍している者、または入学を許可されている者。</p> <p>なお、出願資格の最終認定は徳島大学大学院学則に則り行われる。</p>	専攻名	人員	コース名	知的力学システム工学専攻	若干人	建設創造システム工学コース 機械創造システム工学コース	環境創生工学専攻	若干人	化学機能創生コース 生命テクノサイエンスコース エコシステム工学コース	システム創生工学専攻	若干人	電気電子創生工学コース 知能情報システム工学コース 光システム工学コース
専攻名	人員	コース名																							
知的力学システム工学専攻	若干人	建設創造システム工学コース 機械創造システム工学コース																							
環境創生工学専攻	若干人	化学機能創生コース 生命テクノサイエンスコース エコシステム工学コース																							
システム創生工学専攻	若干人	電気電子創生工学コース 知能情報システム工学コース 光システム工学コース																							
専攻名	人員	コース名																							
知的力学システム工学専攻	若干人	建設創造システム工学コース 機械創造システム工学コース																							
環境創生工学専攻	若干人	化学機能創生コース 生命テクノサイエンスコース エコシステム工学コース																							
システム創生工学専攻	若干人	電気電子創生工学コース 知能情報システム工学コース 光システム工学コース																							

(出典:「平成21年度4月入学 徳島大学大学院先端技術科学教育部における英語による大学院工学教育コース(博士前期課程)の学生募集要領」, 同(博士後期課程)より抜粋)

資料1-11-2 先端技術科学教育部ダブルディグリー、英語コース入学生数

博士前期課程	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月
外国人留学生入学者	7	5	11	6	16	2	24	8	17	
(ダブルディグリー入学者)		2	2	1	3	0	10	3	9	
(英語コース入学者)							10	3	9	
博士後期課程	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月
外国人留学生入学者	12	11	12	10	12	10	11	8	6	
(ダブルディグリー入学者)		2	2	2	1	2	3	4	4	
(英語コース入学者)							3	4	4	

(出典:工学部学務係調べ)

資料2-1-1 パイロット事業支援(研究支援プログラム)の推進により獲得した外部資金獲得状況一覧
平成20年~21年度徳島大学パイロット支援事業による外部資金獲得状況 (1千万円以上)

部局名・職名	氏名	研究組織(班)名	年度	事業名	金額(千円)
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	安友康二	リンパ球系群を維持する分子ネットワーク研究班	20	日本学術振興会 科学研究費補助金若手研究(S)	32,700
疾患轉染学研究センター教授	木戸 博	プリオン病の分子病態解明研究班	20	日本科学技術振興機構 独自のシーズ展開事業大学発ベンチャー創出推進	44,200
疾患轉染学研究センター教授	木戸 博	プリオン病の分子病態解明研究班	20	国立医薬品食品衛生研究所 食品健康影響評価技術研究	35,000
疾患轉染学研究センター教授	木戸 博	プリオン病の分子病態解明研究班	20	文部科学省 科学技術振興機構費	94,985
疾患ゲノム研究センター教授	親泊政一	疾患ゲノム研究の始動と推進研究班	20	地域科学技術振興事業	10,000
疾患ゲノム研究センター教授	片桐豊雅	疾患ゲノム研究の始動と推進研究班	20	共同研究事業	10,000
疾患ゲノム研究センター教授	岡崎 拓	疾患ゲノム研究の始動と推進研究班	20~	日本科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業CREST	76,960
疾患ゲノム研究センター教授	岡崎 拓	疾患ゲノム研究の始動と推進研究班	20	医薬基盤研究所 基礎研究推進事業	20,000
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	高橋 章	発光ダイオード医療応用研究開発班	20~21	日本科学技術振興機構 育成研究	81,000
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	高橋 章	発光ダイオード医療応用研究開発班	20~21	徳島県産業振興機構 徳島県LEDノズル推進ファンド	20,000
ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)教授	伊藤孝司	細胞の分化・脱分化制御に関わる「くすり」の探索班	20	日本科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業CREST	15,470
ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)教授	落合正仁	細胞の分化・脱分化制御に関わる「くすり」の探索班	20	日本学術振興会 科学研究費補助金基盤研究(B)	10,400
ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)教授	臨田明志	細胞の分化・脱分化制御に関わる「くすり」の探索班	20	日本学術振興会 科学研究費補助金基盤研究(B)	10,010
ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)教授	矢野宏造	細胞の分化・脱分化制御に関わる「くすり」の探索班	20	農業・食品産業技術総合研究機構 インノベーション創出基盤的研究推進事業	11,257
疾患轉染学研究センター教授	谷口寿章	プリオン病の分子病態解明研究班	21	先端研究施設共同利用事業 高性能プロテオミクス・メタボロミクス構築設備利用促進事業	12,910
疾患轉染学研究センター教授	木戸 博	プリオン病の分子病態解明研究班	21	日本科学技術振興機構 先端計測分析技術・機器開発事業「要結技術プログラム」	26,000
疾患轉染学研究センター教授	木戸 博	プリオン病の分子病態解明研究班	21	日本科学技術振興機構 独自のシーズ展開事業	42,900
疾患ゲノム研究センター教授	親泊政一	疾患ゲノム研究の始動と推進研究班	21	知的クラスター創成事業	30,000
疾患ゲノム研究センター教授	親泊政一	疾患ゲノム研究の始動と推進研究班	21~22	井上科学振興財団 第1回(平成21年度)井上ソサチアワード	10,000
ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)准教授	石田竜弘	細胞の分化・脱分化制御に関わる「くすり」の探索班	21	日本学術振興会 科学研究費補助金若手研究(A)	11,700
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	松本俊夫	細胞の分化・脱分化制御に関わる「くすり」の探索班	21	厚生労働省 科学研究費補助金総合型研究推進事業	32,000
ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)教授	伊藤孝司	細胞の分化・脱分化制御に関わる「くすり」の探索班	21	医薬基盤研究所 保健医療分野における基礎研究推進事業	26,000
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	玉置俊晃	食品・栄養機能と基盤とする欠陥糖鎖糖鎖糖の予防医学研究班	21	平成21年度概算要求教育研究特別経費	60,000
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	玉置俊晃	食品・栄養機能と基盤とする欠陥糖鎖糖鎖糖の予防医学研究班	21	知的クラスター創成事業(グローバル拠点育成型)	53,110
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	佐田正隆	食品・栄養機能と基盤とする欠陥糖鎖糖鎖糖の予防医学研究班	21	文部科学省 科学研究費補助金新学術領域研究(領域型)	16,000
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	佐田正隆	食品・栄養機能と基盤とする欠陥糖鎖糖鎖糖の予防医学研究班	21	農業・食品産業技術総合研究機構 インノベーション創出基盤的研究推進事業	19,000
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	佐田正隆	食品・栄養機能と基盤とする欠陥糖鎖糖鎖糖の予防医学研究班	21	知的クラスター創成事業(グローバル拠点育成型)	22,180
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	宮本賢一	食品・栄養機能と基盤とする欠陥糖鎖糖鎖糖の予防医学研究班	21	文部科学省 科学研究費補助金特定領域研究	13,000
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	寺尾純二	食品・栄養機能と基盤とする欠陥糖鎖糖鎖糖の予防医学研究班	21	生研センターインノベーション創出基盤的研究推進事業	23,300
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)准教授	竹谷 豊	食品・栄養機能と基盤とする欠陥糖鎖糖鎖糖の予防医学研究班	21	文部科学省 科学研究費補助金特定領域研究	13,000
ソシオテクノサイエンス研究部教授	中村嘉利	セルロース系資源からのバイオエタノール生産研究班	21	林野庁 平成21年度森林資源活用型ニュービジネス創出対策事業	99,985
疾患轉染学研究センター教授	松本 満	新規遺伝子改変マウスの作出による疾患病態研究班	21	文部科学省 科学研究費補助金特定領域研究	10,500
疾患轉染学研究センター教授	松本 満	新規遺伝子改変マウスの作出による疾患病態研究班	21	武田科学振興財団	10,000
ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)教授	佐々木卓也	新規遺伝子改変マウスの作出による疾患病態研究班	21	文部科学省 科学研究費補助金新学術領域研究	25,000

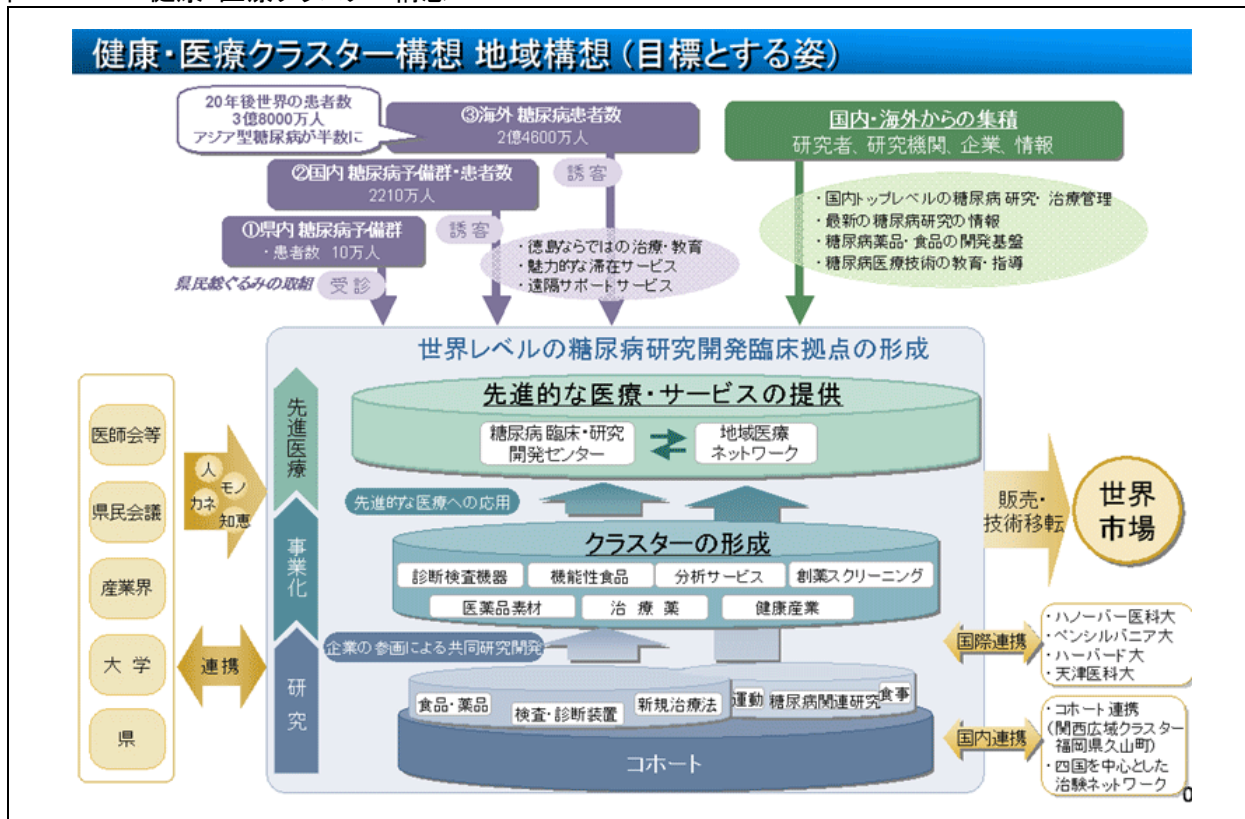
(出典:研究国際部産学連携・研究推進課調べ)

資料2-1-2 重点的に取り組む領域別研究業績

領域	平成16~19年度		平成20~21年度	
	SS	S	SS	S
ゲノミクス・プロテオミクスを基盤とする先端医科学	15	25	15	26
生命科学を基盤とする機能性食品科学	3	29	1	5
高度先端医療を担う医科学	10	26	3	10
健康長寿を担う口腔健康科学	5	17	2	6
ファーマコインフォマティクスを基盤とする薬科学	10	0	6	7
先進物質材料およびナノテクノロジーを基盤とした生命技術科学	6	12	0	15
地域創生総合科学	6	8	3	12

(出典:総務部企画・評価課調べ)

資料2-1-3 健康・医療クラスター構想



(出典:徳島大学ホームページより抜粋)

資料2-1-4 徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター規則

○徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター規則

平成21年12月24日
規則第19号制定

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島大学学則(昭和33年規則第9号)第4条第2項の規定に基づき、徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター(以下「センター」という。)について必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、糖尿病医療に関する基礎研究と臨床研究を連携させた糖尿病研究開発拠点として、肥満・糖尿病とその合併症の予防、治療方法などの研究・開発を推進するとともに、徳島大学医学部・歯学部附属病院(以下「大学病院」という。)の複数診療科による糖尿病診療の連携及び関連医療機関との連携体制を構築することを通じて、斬新な糖尿病医療の実現化を図ることを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 糖尿病対策の研究開発に関すること。
- (2) 糖尿病に係るトランスレーショナルリサーチの展開に関すること。
- (3) 糖尿病診療支援、関連医療人の人材育成に関すること。
- (4) 大学病院の複数診療科による糖尿病診療の連携体制構築に関すること。
- (5) 学外の関連医療機関との診療連携体制構築に関すること。
- (6) 医療ネットワークの構築に関すること。
- (7) その他センターの目的を達成するために必要な業務

(出典:「徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター規則」より抜粋)

資料2-2-1 第1期中期計画期間における研究関連施設の改善(改修等面積)の推移

対象施設	H16	H17	H18	H19	H20	H21	合計
地域・交流プラザ新築		3,517					3,517
医学系基礎A棟改修		3,951	4,767				8,718
医学系基礎B棟改修				6,246			6,246
医学臨床A棟改修					7,163		7,163
保健学系B棟改修						3,504	3,504
保健学系C棟改修					2,179		2,179
アイソトープ総合センター改修・増築						860	860
動物実験施設改修						4,200	4,200
総合教育研究棟(B館)改修					3,518		3,518
総合教育研究棟(C館)改修					2,108		2,108
総合科学部1号館改修						7,645	7,645
附属図書館本館改修					5,106		5,106
各年度の合計面積(m ²)	0	7,468	4,767	6,246	20,074	16,209	54,764
各年度の累積面積(m ²)	0	7,468	12,235	18,481	38,555	54,764	—
H21年度末累積面積に対する割合(%)	0.0%	11.7%	19.1%	28.9%	70.4%	100.0%	—

(出典:「徳島大学の施設マネジメントに関するQ&A Ver.5」より抜粋)

資料2-2-2 医学基礎B棟利用者満足度アンケート調査結果

評価項目	建物の印象の総合評価		使いやすさの総合評価		快適性の総合評価	
	回答者数	割合(%)	回答者数	割合(%)	回答者数	割合(%)
非常に満足	10	21	9	20	10	21
やや満足	24	51	18	39	27	58
どちらでもない	12	26	17	37	8	17
やや不満足	1	2	2	4	2	4
非常に不満足	0	0	0	0	0	0
合計	47	100	46	100	47	100

(注)調査対象者は、教員及び学生47名である。

(出典:「医学基礎B棟における利用者満足度調査報告書」より抜粋)

資料2-3-1 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部総合研究支援センター規則

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部総合研究支援センター規則	
(設置)	
第1条 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部（以下「研究部」という。）に、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部総合研究支援センター（以下「センター」という。）を置く。	
(目的)	
第2条 センターは、医学系分野、歯学系分野、薬学系分野、栄養学系分野及び保健学系分野における高度かつ先端的な医療科学研究及び動物実験に関する教育・研究を総合的に支援・推進することを目的とする。	
(部門)	
第3条 センターに、前条の目的を達成するため、次の部門を置く。	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 先端医療研究支援部門 (2) 動物資源研究部門 	
2 前項各号に規定する部門について必要な事項は、別に定める。	

(出典:「徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部総合研究支援センター規則」より抜粋)

資料2-3-2 総合研究支援センター機器使用計算表

総合研究支援センター機器使用計算表		
	平成20年4月～平成21年3月	平成21年4月～平成22年3月
グループ	合計金額(円)	合計金額(円)
生物画像グループ 合計	1,921,900	2,803,600
情報解析グループ 合計	1,649,750	1,505,950
生体分子解析グループ 合計	14,251,240	13,043,260
ヒト組織バンクグループ 合計	422,340	567,150
プロテオミクス解析グループ 合計	3,570,422	9,502,106
全グループ 合計	21,815,652	27,422,066

(出典「総合研究支援センター機器使用計算表」より抜粋)

資料2-3-3 平成21年度 共用機器使用状況総括表

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
共用機器数(A)	280	280	244	240	228	321
実績装置数(B)	76	78	52	69	82	126
重要物品数(C)	982	1,118	881	960	1,047	1,487
共用化率(A/C)	28.51%	25.04%	27.70%	25.00%	21.77%	21.59%
稼働率(B/A)	27.14%	27.86%	21.31%	28.75%	35.96%	39.25%

(出典:研究国際部産学連携・研究推進課調べ)

資料2-4-1 平成 20, 21 年度任用学長裁量ポストプロジェクト一覧

No.	部局等名	講座又はプロジェクト名	職名	採用日	満了日
1	埋蔵文化財調査室	埋蔵文化財調査室(埋蔵文化財調査プロジェクト)	助教	19. 4. 1	22. 3. 31
2	事務局総務部	徳島大学職員相談室	助教	19. 5. 1	22. 4. 30
3	HBS研究部	医療教育開発センター(医療教育開発センターにおける業務の継続的発展)	准教授	19. 6. 1	22. 5. 31
4	工学部	u-Learning および u-Campus 推進プロジェクト	助教	19. 7. 1	22. 6. 30
5	医学部	ストレスのイノベーション研究プロジェクト	講師	19. 7. 1	22. 6. 30
6	医学部・歯学部附属病院	心臓血管外科	助教	19. 7. 1	22. 6. 30
7	総合科学部	高大接続授業を含む理系基礎教育充実プロジェクト	助教	19.10. 1	22. 9. 30
8	大学開放実践センター	徳島大学FD推進プロジェクト	助教	19.10. 1	22. 9. 30
9	疾患酵素学研究センター	酵素タンパク質結晶解析室	助教	19.10. 1	22. 9. 30
10	工学部	複数学位を与える国際連携大学院教育の創設	助教	20. 3. 1	23. 2. 28
11	アイソトープ総合センター	アイソトープ総合センター	講師	20. 3. 1	23. 2. 28
12	全学共通教育センター	英語及び情報教育の充実プロジェクト	助教	20. 4. 1	23. 3. 31
13	工学部	先端技術科学教育部 長期インターンシップ委員会 派遣型高度人材協同育成プロジェクト	助教	20. 4. 1	23. 3. 31
14	総合科学部	教育力向上と教員養成充実プロジェクト	助教	20. 4. 1	23. 3. 31
15	医学部	国際宇宙ステーション実験遂行プロジェクト(生体栄養学分野)	助教	20. 4. 1	23. 3. 31
16	医学部	前期・後期研修医の教育体制の充実及び診療の質向上をめざして	講師	20. 4. 1	23. 3. 31
17	歯学部	卒前臨床実習教育支援センター(国際連携を基盤とした新しい歯科臨床教育プログラムの設置を含む)	助教	20. 4. 1	23. 3. 31
18	薬学部	臨床薬学実務教育室	助教	20. 4. 1	23. 3. 31
19	医学部・歯学部附属病院	前期・後期研修医の教育体制の充実及び診療の質向上をめざして	助教	20. 4. 1	23. 3. 31
20	医学部・歯学部附属病院	医療情報部	助教	20. 4. 1	23. 3. 31
21	ゲノム機能研究センター	蛋白質情報部門蛋白質発現分野	助教	20. 4. 1	24. 3. 31
22	評価情報分析センター	情報流通基盤を活用した評価情報収集・分析システム構築プロジェクト	助教	20. 4. 1	23. 3. 31
23	学生支援センター	学生相談室専任教員(臨床心理士)の配置	助教	20. 4. 1	23. 3. 31
24	埋蔵文化財調査室	埋蔵文化財調査室(埋蔵文化財調査プロジェクト)	准教授	20. 4. 1	25. 3. 31
25	医学部	器官病態修復医学講座・循環器内科学分野(設置予定)	助教	20. 6. 1	23. 5. 31
26	ゲノム機能研究センター	ゲノム情報部門ゲノム制御分野	助教	20.10. 1	24. 9. 30
27	医学部	ストレス栄養科学教育センター グローバル COE「健やかな子どもを育む栄養教育科学」ー職員・教育・発達領域への新たな挑戦ー	助教	21. 4. 1	24. 3. 31
28	医学部・歯学部附属病院	消化器・移植内科	助教	21. 4. 1	24. 3. 31
29	工学部	英語のみで修了可能な大学院専門コースの開設	講師	21. 6.	24. 6. 15
30	医学部	感覚情報医学講座 臨床神経科学分野(神経内科)	講師	21. 8. 1	24. 7. 31
31	医学部・歯学部附属病院	薬学6年生学生に対する特色ある薬剤師教育プログラムの実現を目指して(薬剤部および薬学実務教育室)	助教	21. 8. 1	24. 7. 31
32	薬学部	臨床薬学実務教育室(薬局実務実習担当)	助教	21.10.16	24.10.15

(出典:総務部人事課作成「平成 16~21 年度新規任用学長裁量ポストプロジェクト一覧」より平成 20,21 年度任用分を抽出)

資料2-5-1 EDBAssistance の特徴

EdbAssistance の特徴

<https://web.db.tokushima-u.ac.jp/Assistance/>

想定利用対象者を、

- EDB, パソコンの操作に慣れていない利用者
- 自分に関係のある情報を素早く閲覧, 編集したい利用者

2 of 10

(出典:2009/9/4 「EdbAssistance 講習会資料」より抜粋)

資料2-5-2 PubMed を参照して論文情報を登録する方法

PubMed に登録されている情報を取得して EDB へ情報を登録する

PubMed に登録されている自分の業績情報を取得して、EDB に登録する方法を解説します。

登録を行う前に

登録作業を行う前に、まずは以下の作業を完了させておいて下さい。

- EDBClient を起動させ、ログインしておく。

情報の登録のしかた

1. メインウィンドウで「新規」タブを選び、「PubMed からデータを入力」の部分を出力しておく。
2. PubMed Home より PubMed の検索画面を開き、自分の業績を検索する。
3. 検索結果に認識されている PMID をメインウィンドウに Drag & Drop する。

4. PMID をもとに PubMed から情報を取得し、新情報画面が開きます。

情報を登録する際の注意

- 論文の識別番号の項目を補う。
- 書名は必要なのは参照登録にする。
- 誤りがないか確認する。

5. 入力内容が完了したら、「情報(新規)」メニューより「情報終了」を選択し必ず「情報終了」というダイアログが表示されますので、「はい」ボタンをクリックすると、情報の登録が完了します。

(出典:評価情報分析センター作成「PubMed に登録されている情報を取得して EDB に情報を登録する方法」)

資料2-6-1 疾患ゲノム研究センターの組織

疾患ゲノム研究センターの部門, 分野

ゲノム情報部門	新たな観点からの解析が必要なゲノム情報の包括的研究を基盤に、生命システムを統合する原理解明を目指すとともに、疾患の克服に向けた標的分子の同定を図ります。
ゲノム機能分野	1型糖尿病など自己免疫疾患の発症を制御するPD1の病態への関与を解明してきた実績をもとに、自己免疫疾患の原因解明と新規治療法の開発を目指しています。
ゲノム制御分野	悪性腫瘍に発現変動する遺伝子のゲノム網羅的解析に関する先駆的な実績をもとに、ゲノム情報発現の病態制御とその臨床応用を目指した疾患ゲノム研究を推進しています。
蛋白質情報部門	ゲノムにコードされる蛋白質機能の包括的研究を基盤に、生命システムを統合する原理解明を目指すとともに、疾患の克服に向けた分子同定を図ります。
生体機能分野	蛋白質品質管理の分子機構と2型糖尿病における異常の解明に関する先鋭的な研究実績をもとに、生命システムの監視とその破綻の原理解明を目指しています。
蛋白質発現分野	エネルギー代謝と細胞死を統御するミトコンドリアに関する独自の研究実績をもとに、蛋白質機能の病態制御を目指したプロテオミクス解析研究を推進しています。
生体情報部門	システム生命科学に基づいて高次生命システムを統合する原理の解明と、その破綻による疾患の理解を図ります。
病態ゲノム分野	2型糖尿病と関節リウマチを主な対象にした疾患感受性遺伝子のゲノム多型解析の実績をもとに、難治性疾患をもたらす生命システムの破綻機構の解明と治療法開発を目指しています。
生命システム形成分野	免疫細胞の運命分岐機構に関する先端的研究実績をもとに、生命システムの頑強性と適応性の原理解明とその破綻による免疫疾患発症機構の解明を目指しています。
システム生物学分野	コンピュータ科学に基づいて生命システム情報の統合と破綻のモデル構築を図ります。

(出典:「疾患ゲノム研究センターパンフレット 2009」より抜粋)

資料2-6-2 疾患ゲノム研究センターの研究業績

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
論文数	17 報	38 報	44 報	37 報
論文数 (IF ≥ 20)	2 報	2 報	1 報	1 報
論文数 (20 > IF ≥ 10)	6 報	5 報	7 報	2 報
IF 合計	180.8	225.8	306.6	201.2

(出典:疾患ゲノム研究センター調べ)

資料2-6-3 疾患酵素学研究センターの共同研究

徳島大学疾患酵素学研究センター 平成21年度 学内外プロジェクト研究一覧

	研究課題	共同研究先	受入研究部門
1	角質デスモゾーム機能の解析による難治性皮膚疾患「乾癬」の病態研究	旭川医科大学, 高知大学医学部, Genentech, Jansen Pharma	免疫病態研究部門
2	自己寛容成立機構におけるシグナル伝達分子の機能解析	理化学研究所発生・再生科学総合研究センター, 東京大学医科学研究所, 国立感染症研究所	免疫病態研究部門
3	胸腺上皮細胞分化因子としてのAIREの機能解析	理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター	免疫病態研究部門
4	リンパ腫特異的血清マーカーの探索	徳島大学大学院HBS研究部・松本俊夫	疾患プロテオミクス研究部門
5	RNAウイルスの翻訳・複製機構の解析	京都大学・奥野哲郎	疾患プロテオミクス研究部門
6	脂肪滴構成タンパク質のプロテオミクスによる形成制御機構の解析	名古屋大学・藤本豊士	疾患プロテオミクス研究部門
7	脂肪滴構成タンパク質のプロテオミクスによる形成制御機構の解析	高知大学・三井真一	疾患プロテオミクス研究部門
8	プリオン蛋白の産生効率およびその病原性規定部位の解析	産業医科大学	神経変性疾患研究部門
9	プリオン病における正常型プリオン蛋白質シグナル機構の解明	長崎大学	神経変性疾患研究部門
10	脳内におけるインスリン受容体の役割	群馬大学生体調節研究所	シグナル伝達と糖尿病研究部
11	超高感度ELISA測定系の改良	徳島文理大学	シグナル伝達と糖尿病研究部
12	糖尿病の新規血清マーカーの臨床的意義の確立とその応用	徳島大学, 徳島文理大学, 愛媛大学, 香川大学, 高知大学, 滋賀医科大学, 熊本大学, 医学生物学研究所, 大塚製薬	シグナル伝達と糖尿病研究部
13	新規細胞死制御因子(ヌクリング)の病態生理学的意義	臨床神経科学分野, 口腔分子病態学分野	病態システム酵素学研究部門
14	D-アミノ酸化酵素のバイオリクターを用いた大量培養系の開発	徳島大学工学部	病態システム酵素学研究部門
15	D-アミノ酸化酵素の構造生物学	徳島文理大学	病態システム酵素学研究部門
16	ヒト死後脳を用いた精神神経疾患の病態解析	国立精神・神経センター, 大塚製薬	病態システム酵素学研究部門
17	パーキンソン病(PD)の病態における脳内D-セリンの機能解明	富山大学	病態システム酵素学研究部門
18	化学物質による肝炎におけるKupffer細胞の役割に関する研究	奈良女子大学	病態システム酵素学研究部門
19	腎臓におけるD-アミノ酸化酵素の病態生理学的意義	西出病院	病態システム酵素学研究部門
20	中枢神経系のセリンメタボローム解析	慶北大学(韓国)	病態システム酵素学研究部門
21	アポトーシス制御の病態システムバイオロジー	KAIST(韓国)	病態システム酵素学研究部門
22	クラリスロマイシンの作用機序検討	大正製薬株式会社	応用酵素・疾患代謝研究部門
23	インフルエンザ罹患リスクの予測方法についての研究	富士フィルム(株)	応用酵素・疾患代謝研究部門
24	高感度マルチ抗原アレルギー診断チップ開発	オリエンタル酵母工業(株)	応用酵素・疾患代謝研究部門
25	肥満と酸化ストレス	徳島大学大学院HBS研究部	応用酵素・疾患代謝研究部門
26	トキシコロジー分野へのプロテオーム解析の応用	徳島大学大学院HBS研究部	応用酵素・疾患代謝研究部門
27	生体成分粘膜アジュバントの実用化研究	阪大微生物病研究会, 化学及血清療法研究所, 大阪大学微生物病研究所, 警友会病院小児科	応用酵素・疾患代謝研究部門
28	インフルエンザ脳症の発症機序の解明と治療法の開発研究	島根大学小児科, 福井大学小児科, 川崎医科大学微生物学教室	応用酵素・疾患代謝研究部門
29	インフルエンザ脳症の発症機序解析	千葉大学大学院小児病態学, 国立下志津病院小児科	応用酵素・疾患代謝研究部門
30	クラリスロマイシン及びリビン酸オセルタルビルが粘膜免疫システムに及ぼす影響について	徳島大学大学院HBS研究部	応用酵素・疾患代謝研究部門

(出典:疾患酵素学研究センター調べ)

資料2-7-1 第1期中期計画期間における環境防災研究センターの活動状況の推移

(延べ回数)

活動内容		H16	H17	H18	H19	H20	H21
主催・共催 ・協力事業	講演会・シンポジウム・フォーラム	5	10	4	4	10	2
	セミナー・研修会・研究会・懇談会	0	0	10	3	21	27
	合計	5	10	14	7	31	29
災害調査		2	4	1	10	9	12

(出典:環境防災研究センター調べ)

資料2-7-2 平成20年度及び21年度における環境防災研究センターの特徴的な取組

平成20年度	主催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島大学での防災ミニフォーラム3回(参加者:60人、100人、80人) ・はじめてのBCP策定研修会(参加者:13人) ・徳島県企業防災推進委員会研究部会(座長:中野晋教授)(11回) ・建設業BCP検討会(徳島・香川地区:4回、高知地区:4回)
	共催・協力事業	<ul style="list-style-type: none"> ・防災フォーラム「大規模災害」に備える ・徳島防災フェスタ2008 ・防災・減災フォーラム2008in徳島
	災害調査	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手・宮城内陸地震被害調査(5回) ・中国四川大地震被害調査 ・能登半島地震及び新潟県中越沖災害復興調査
	講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・日本防災士研修センター「防災士養成研修講座」, 高松市, 松前町 ・徳島県自治研修センター「台風・豪雨災害と危機管理」, 徳島市 ・徳島市小・中・高等学校教員防災研修「防災教育の新しい手法」, 徳島市 ・自主防災組織リーダー研修会「災害時意思決定訓練」, 徳島市 ・他多数
平成21年度	主催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域建設企業のための「災害時事業継続」講演会(参加者:211人) ・経営者のためのBCPセミナー(参加者:99人) ・BCP策定研修会(3回)、徳島県建設BCP研究会(3回) ・徳島県企業防災推進委員会BCP研究部会(座長:中野晋教授)(9回)
	共催・協力事業	<ul style="list-style-type: none"> ・みなみから届ける環づくり会議(11回)
	災害調査	<ul style="list-style-type: none"> ・防府市豪雨による斜面崩壊・地すべり被害調査 ・兵庫県佐用町洪水被害調査(6回) ・駿河湾を震源とした地震被害調査(2回) ・台風18号による徳島県牟岐町の強風被害調査

(出典:環境防災研究センター調べ)

資料2-8-1 平成20年度附属図書館改修工事概要

徳島大学附属図書館 2009 施設整備概要
- For The University of Tokushima

2009 The Repair
1971本館
1985新館
2009改修

カフェテリア サービスカウンター マルチメディアコーナー 和装本資料室 資料展示室

徳島大学附属図書館は、今回の改修により従来の図書館ではタブーとされてきた会話や飲食などの規制を緩和し学生・教職員グループ学習の空間やカフェテリアなどオープンなスペースを設置することにより、居心地がよく、常に利用される図書館を目指し、amenity【快適】- thinking【思索】- creation【創造】をコンセプトに「ラーニング・commons」を提供します。もちろん、静かな環境で学習をしたいと希望する学生のためには、原則会話禁止の個別学習スペースも設置されています。

※「ラーニング・commons」資料の貸し出し・閲覧を中心とした従来型の図書館の役割を大きく方向転換し、様々な付加価値を付け、学生にとってより身近で快適な利用しやすい学習空間を提供しようという試みです。

2009年 改修のポイント

- ◆耐震改修
- ◆バリアフリーの実現
- ◆読書推進による動線の改善
- ◆閲覧スペースの拡充
- ◆貴重資料室・和装本資料室の新設
- ◆アメニティの改修(カフェテリアなど)
- ◆研究個室・グループ研究室の整備
- ◆スペースの効率化(集約型研究室等)
- ◆プラウジング・相談コーナーの整備
- ◆マルチメディアコーナーの整備
- ◆事務環境の効率化

1階 平面図 2=1,593 (1,419㎡)
2階 平面図 2=1,200 (1,582㎡)
3階 平面図 2=1,593 (1,419㎡)
中3階 平面図 2=1,200 (234㎡)

閲覧スペース 研究室(グループ・個別) 特殊資料スペース 展示・催事・多目的スペース
閲覧スペース 情報スペース 事務スペース

改修前 改修後

(出典:「附属図書館 2009 施設整備概要(改修工事リーフレット)」より抜粋)

資料2-8-2 附属図書館利用者アンケート・懇談会で寄せられた意見・要望一覧

内 容	意 見 ・ 要 望
改修後の図書館について	○自習スペースを拡大して欲しい ○書庫を使いやすくして欲しい(明るさ、移動しやすさなど) ○今まで暗かったので明るい電気になったら本が読みやすい。でも今までの太陽が入って風の通る図書館でもあって欲しい ○飲食可のスペースの設置など ○コインロッカーの設置 ○蔵書を置くスペースの拡大 ○カフェテリアが出来ることによってうるさくなるのではないかと不安。
開館時間	○利用時間を少しでも長くして欲しい ○時間外利用時間を延長して欲しい(蔵本分館) ○本館でも無人開館して欲しい
資料配置	○資料配置を分かりやすくして欲しい ○どんな本を置いてあるかの広報、掲示 ○新着図書を分かりやすくして欲しい。その一覧表も欲しい ○雑誌を分かりやすくして欲しい ○閲覧室の図書を書庫に移動させる基準はなにか(懇談会)

(出典:「利用者アンケート・懇談会で寄せられた意見・要望について」より抜粋)

資料2-8-3 附属図書館 2009 年度アンケート結果概要

アンケート回答者 806 名(徳大生 762 名, 教職員 10 名, 学外者 26 名)

項目	対 象	大変満足	満足	やや満足	不満	未回答	
		サービス・設備について	開館時間	徳大生 17.4% 教職員 36.4% 学外者 35.7%	55.9% 45.5% 53.6%	19.1% 9.1% 10.7%	6.4% 0.0% 0.0%
資料の品揃えについて	貸出冊数	徳大生 19.7% 教職員 18.2% 学外者 25.0%	64.4% 36.4% 39.3%	10.2% 36.4% 21.4%	4.1% 0.0% 0.0%	1.6% 9.1% 14.3%	
		貸出日数	徳大生 17.0% 教職員 18.2% 学外者 10.7%	63.5% 63.6% 60.7%	14.1% 9.1% 14.3%	3.9% 0.0% 0.0%	1.4% 9.1% 14.3%
			パソコン	徳大生 17.4% 教職員 36.4% 学外者 35.7%	55.9% 45.5% 53.6%	19.1% 9.1% 10.7%	6.4% 0.0% 0.0%
	図書			徳大生 10.8% 教職員 0.0% 学外者 14.3%	55.6% 54.5% 46.4%	25.1% 9.1% 28.6%	7.5% 27.3% 0.0%
		雑誌		徳大生 11.9% 教職員 9.1% 学外者 3.6%	59.9% 27.3% 71.4%	20.1% 27.3% 21.4%	5.4% 27.3% 0.0%

(出典:「平成 21 年度利用者アンケート実施結果報告」より数値を抽出)

資料2-8-4 附属図書館学外者利用統計

年 度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
本館 登録者数	106	137	171	180	615	643	773	880	956	1,087	763	927
本館 延入館者数	213	469	1,992	2,465	5,985	7,689	11,159	14,428	18,341	18,598	11,111	13,838
本館 延貸出人数	157	200	423	254	354	526	570	812	783	1,070	794	1,642
本館 延貸出冊数	332	440	677	569	938	1,091	1,208	1,931	1,943	2,702	2,026	4,149
分館 登録者数	55	73	163	167	703	691	709	729	626	646	1,006	916
分館 延入館者数	212	281	857	1,158	6,179	7,685	7,519	7,363	8,660	7,668	12,008	11,850
分館 延貸出人数	109	206	360	207	236	219	331	433	387	416	705	955
分館 延貸出冊数	220	440	819	440	584	471	752	911	857	919	1,465	2,080
合計 登録者数	161	210	334	347	1,318	1,334	1,482	1,609	1,582	1,733	1,769	1,843
合計 延入館者数	425	750	2,849	3,623	12,164	15,374	18,678	21,791	27,001	26,266	23,119	25,688
合計 延貸出人数	266	406	783	461	590	745	901	1,245	1,170	1,486	1,499	2,597
合計 延貸出冊数	552	880	1,496	1,009	1,522	1,562	1,960	2,842	2,800	3,621	3,491	6,229

(出典:「附属図書館学外者利用者統計」)

資料2-8-5 学生用図書の整備状況

区 分	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	冊 数	学生一人当たり	冊 数	学生一人当たり	冊 数	学生一人当たり	冊 数	学生一人当たり	冊 数	学生一人当たり	冊 数	学生一人当たり
A.蔵書冊数	794,781冊	102冊	805,620冊	102冊	805,126冊	102冊	813,078冊	103冊	816,371冊	104冊	816,767冊	105冊
うち、本館	本館556,550冊		本館563,978冊		本館570,307冊		本館577,500冊		本館581,330冊		本館586,321冊	
うち、分館	分館238,231冊		分館241,642冊		分館234,819冊		分館235,578冊		分館235,041冊		分館230,446冊	
B.年間購入図書	6,617冊	0.85冊	5,212冊	0.66冊	6,252冊	0.79冊	5,825冊	0.74冊	5,312冊	0.68冊	6,969冊	0.90冊
C.年間購入学生用図書	4,745冊	0.61冊	4,057冊	0.51冊	4,847冊	0.62冊	4,450冊	0.56冊	4,351冊	0.56冊	6,343冊	0.82冊
備考:利用対象者(学生数)	7,764人		7,888人		7,878人		7,878人		7,834人		7,760人	
	冊数	購入率	冊数	購入率	冊数	購入率	冊数	購入率	冊数	購入率	冊数	購入率
内数C-1:学生希望図書 購入率:冊数購入希望冊数×100	185冊	100%	134冊	100%	261冊	100%	321冊	100%	270冊	100%	366冊	100%

備考：(1) 蔵書冊数：各年度の4月1日現在で雑誌を除く。

(2) 年間購入図書：当該年度の図書購入費により購入された図書（資産となるもの）

(3) 年間購入学生用図書：当該年度に学生用として選定・購入し、図書館に配置したもの。

(4) 利用対象者：各学年の5月1日現在の全学内構成員。学生：学部・大学院生

(5) 学生用希望図書については、重複図書（図書館備付）、品切・絶版等で購入できなかったものを除く。

(出典:附属図書館「学生用図書の整備状況」)

資料2-8-6 電子図書館的機能の充実の推移

項 目	H16	H17	H18	H19	H20	H21
閲覧可能電子ジャーナルタイトル数 (H16年度を1とした指数)	3,028 (1.00)	3,428 (1.13)	8,984 (2.97)	7,666 (2.53)	9,111 (3.01)	11,736 (3.88)
電子ジャーナル利用件数 (H16年度を1とした指数)	223,952 (1.00)	288,721 (1.29)	297,591 (1.33)	332,670 (1.49)	383,723 (1.71)	388,119 (1.73)
学術データベースの利用件数 (H16年度を1とした指数)	51,337 (1.00)	81,718 (1.59)	99,894 (1.95)	111,148 (2.17)	163,343 (3.18)	214,603 (4.18)
各年度の遡及目録入力冊数	46,000	44,000	37,000	36,000	24,379	34,816
各年度の遡及目録入力冊数の累積	207,000	251,000	288,000	324,000	348,379	383,195
目標達成率(%) (注)	(58%)	(70%)	(80%)	(90%)	(97%)	(106%)

(注) 目標達成率(%)は「目録データ遡及入力年次計画(10カ年計画:H12年度-H21年度)」における目標数値(360,000冊)に対する達成率

(出典:「附属図書館年次報告書」から抜粋)

資料2-8-7 附属図書館における展示会及び講演会開催一覧(平成21年度)

展示会・講演会の名称	期 間	来場者数
徳島大学附属図書館改修記念「伊能図展」 - 伊能忠敬が歩いた西日本 -	平成21年6月29日 ～平成21年7月31日	77 (芳名録記入者数)
徳島大学附属図書館蔵の伊能図「大日本沿海図稿」	平成21年7月28日	40
「続・伊能図展」 - 伊能忠敬が歩いた東日本 -	平成21年9月11日 ～平成21年10月12日	50 (芳名録記入者数)
徳島大学附属図書館学術講演会 「徳島城下町と洲本城下町」	平成21年11月6日	50
徳島大学附属図書館展示会「阿波と淡路の御城下絵図」	平成21年11月4日 ～平成21年12月20日	29 (芳名録記入者数)

(出典:「附属図書館年次報告書」から抜粋)

資料3-1-1 TPAS-Net 概要



はじめに

TPAS-Net (ティーパス・ネット) は、徳島大学知的財産本部が蓄積してきた産学連携コーディネータ技術と、株式会社グリーンネットが持つ特許検索技術を統合して開発しました。

1. 企業や大学の研究者のシーズ・ニーズ・ID(研究者)情報を登録する機能
2. 特許、シーズ・ニーズ、研究者情報などの知的情報を一括して検索する機能
3. 自動選別した最新知の情報の個別自動配信機能
4. コーディネータの活動を支援するマッチング機能等を実現しました。

登録

シーズ・ニーズ、ID情報の簡易登録
利用者のプロフィール情報や、シーズ・ニーズ情報等を登録して検索に利用できます。

検索

簡易検索から詳細検索まで対応
1回のキーワード入力、特許、シーズ・ニーズ、ID情報を選択して検索できます。また、詳細な検索も可能です。

配信

毎週1回の自動特許配信
利用者が登録したキーワードから、特許情報や、シーズ・ニーズ情報などを自動的に配信いたします。

マッチング

～コーディネータが利用者と企業、研究者、個人等からのコンタクトに際して、双方の意向を整理し、産学連携の機会を生み出します。

徳島大学知的財産本部

開発したシステムに産学連携・技術情報を集約させ、知的財産戦略事業を展開し、大学内では教育研究の活性化、企業へは技術提案や情報ビジネス事業を行い、産学双方の技術革新への貢献を目指しています。

産学連携マッチングを行う際、大学研究者の学際用語や企業のビジネス用語で行うことは大変に困難です。

本システムでは、唯一大学側、企業側との共通の情報である特許情報を利用して産学連携マッチングを図っていきます。

特長

本システムは、特許情報を主体として各地元企業に共通する大学の知的財産情報や、研究シーズを発信することにより、有用な知的情報の獲得に不慣れな多くの中小企業に対して、ピンポイントで情報を適切かつ効率的に提供ができるという特徴があります。

一方、大学等の研究者は、社会から研究課題の収集、社会から求められる研究分野の推移を必然的に察知でき、外部研究資金や新しい研究テーマのヒントを得ることができます。

更に、産学連携コーディネータが利用者間のコンタクトをWeb上で着実に実現することから、効率的な産学連携マッチングが可能となり、経験を活かした有効なコーディネータ方法が確立できます。

概要

データベース

1. **特許情報データベース:** 1993年以降の特許情報、約760万件(2007年5月現在)が蓄積されており、1週間毎に最新データが登録されます。
2. **シーズ・ニーズ情報データベース:** 大学等の研究者、企業等のシーズ・ニーズ情報が蓄積されています。今後利用者の増加に伴いデータ量も増加していきます。
3. **ID(研究者)情報データベース:** 登録された大学の研究者情報と、Web上でコンタクトを求めて積極的に情報を公開している研究者や企業情報を約10万件収集蓄積しています。但し、個人名・メールアドレス等の個人情報は公開していません。

検索

検索方法は「**超簡単検索**」「**簡易検索**」「**詳細検索**」の3つの検索方法を提供しています。これらの検索の特徴としては、

1. **検索検索を実現:** 一つのキーワードで3つのデータベースの検索結果を提供します。
2. **高速全文検索の実現:** 1秒間に30億文字の高速全文検索でスピーディな検索を提供します。
3. **画面遷移:** キーワード入力から詳細情報表示まで、同一画面での操作が可能になりました。

概要

情報配信 概要

データベース: 特許情報、シーズ・ニーズ情報、ID情報

キーワード登録: 検索用

検索: 簡易検索、詳細検索

登録: シーズ・ニーズ登録、簡易登録、詳細登録

配信

情報配信では、利用者がID情報登録時に登録したキーワードを基に、その利用者のためにコーディネータが情報配信用の検索式を作成しました。

もちろん利用者自ら検索式を作成することもできます。

そして、その検索式にマッチした、最新の特許情報、シーズ・ニーズ・ID情報の結果件数をメールにて自動配信することが可能になりました。

更なる情報の受信を希望される場合にも、複数のキーワードを追加登録することで、自動配信ができるようになります。

登録

シーズ・ニーズ登録では、「簡易登録」「詳細登録」の2つの方法を提供しています。

1. **簡易登録:** キーワード主体の入力でスピーディに登録できます。
2. **詳細登録:** テキスト入力で詳細な情報の登録ができます。パワーポイントやPDFなどのドキュメントの登録も可能になりました。

このシーズ・ニーズ登録では、登録件数に制限がありませんので、利用者が登録しておきたい研究内容等は何件でも登録が可能です。

そして、登録された内容は翌週の情報配信に反映されます。

マッチング

利用者が情報検索を行った結果や、今週の情報配信などで興味をもった、シーズ・ニーズ・ID情報に、問い合わせや要望などのコンタクトを送信することができます。

現在、徳島大学知的財産本部・産学連携研究企画部にメールが送られます。

ここでの利点は、利用者と相手側が直接交渉できないということです。時間や連絡などの煩わしさを利用者を感じさせることなく、産学連携マッチングを推進することができます。

コンタクト送信された内容は、知的財産本部のコーディネータに送信され、内容・主旨を確認した上で、相手側への渉外が開始されます。

お互いの事情がマッチした段階で、双方の了解を得てから、連絡先等の情報が伝えられ、具体的な産学連携マッチングが進行していきます。

アクセス方法

徳島大学産学官連携プラザホームページ アドレス
<http://ccr.ccr.tokushima-u.ac.jp>

1. まずはIDを取得して下さい。
2. ログイン後すぐに利用できる「情報検索」をお試し下さい。
3. キーワード登録をさせていただくと翌週に情報配信されます。
4. 配信された「今週の情報配信」メールをご覧下さい。

徳島大学知的財産本部

徳島大学知的財産本部では、研究成果の権利化、育成、活用すなわち知的創造サイクルの短縮化、大型化を図り、外部資金獲得を軸とした産学連携に取り組んでいます。

さらに、大学本来の教育に目を向け、地域と連携して地域技術・人材育成のための教育プログラムの開発を行っています。

職員一同、本学と地域の発展を願い、産学官連携に努めて参りたいと考えております。

お問い合わせ・連絡先
住所: 〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地
徳島大学知的財産本部産学連携研究企画部
電話: 088(656)7592 FAX: 088(656)7593

TPAS-Net(ティーパス・ネット)窓口
電話: 088(656)7022 E-mail: center@ccr.tokushima-u.ac.jp

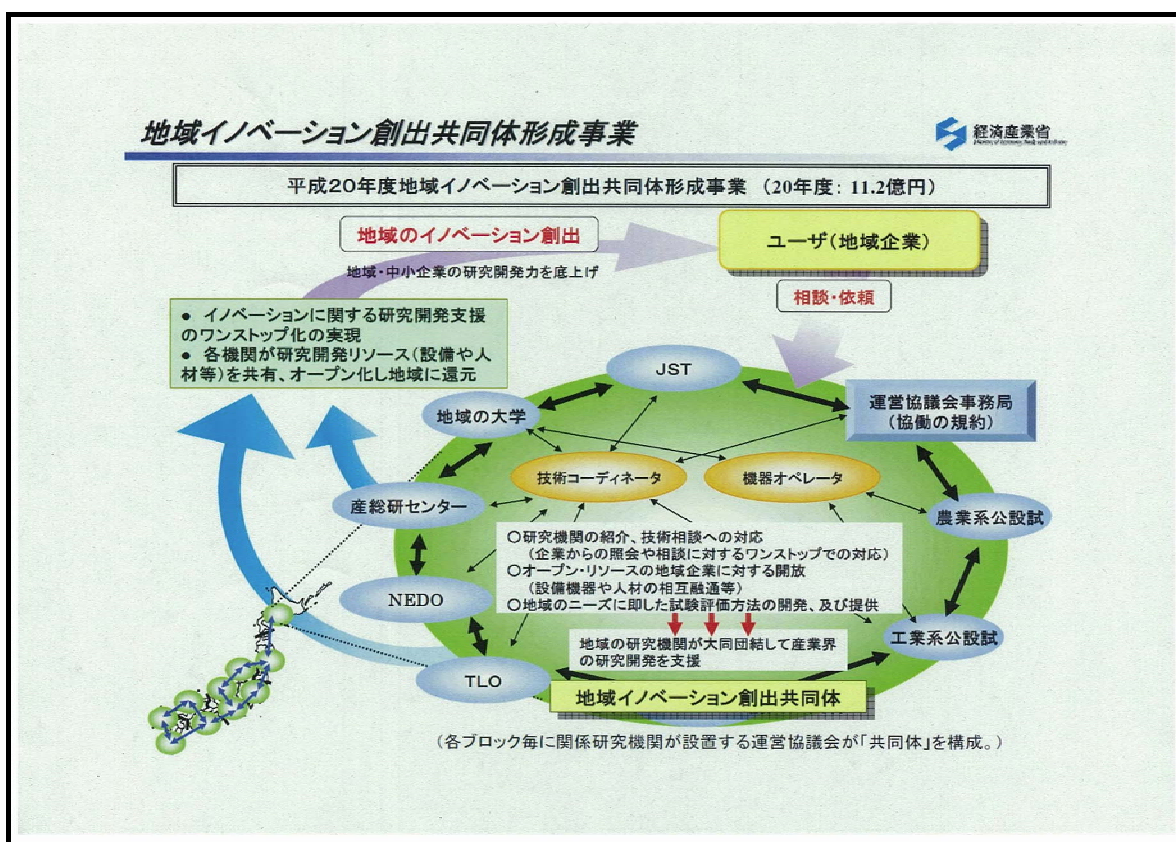
資料3-1-2 TPAS-Net 年間利用者数等

期間:2009/1/1 ~ 2009/12/31

学内, 学外の別	項目	ID 発行数	利用者数(ID 数)	利用回数
学外	企業(有料)5社	25	17	729
	テスト利用者	203	59	2,144
	徳島地区大学高専	170	18	159
学外利用者 合計		398	94	3,032
学内	知的財産本部教職員	39	23	3,659
	徳島大学教職員	919	26	718
学内利用者 合計		958	49	4,377
総合計		1,356	143	7,409

(出典:「TPAS-Net 年間利用者数等」より抜粋)

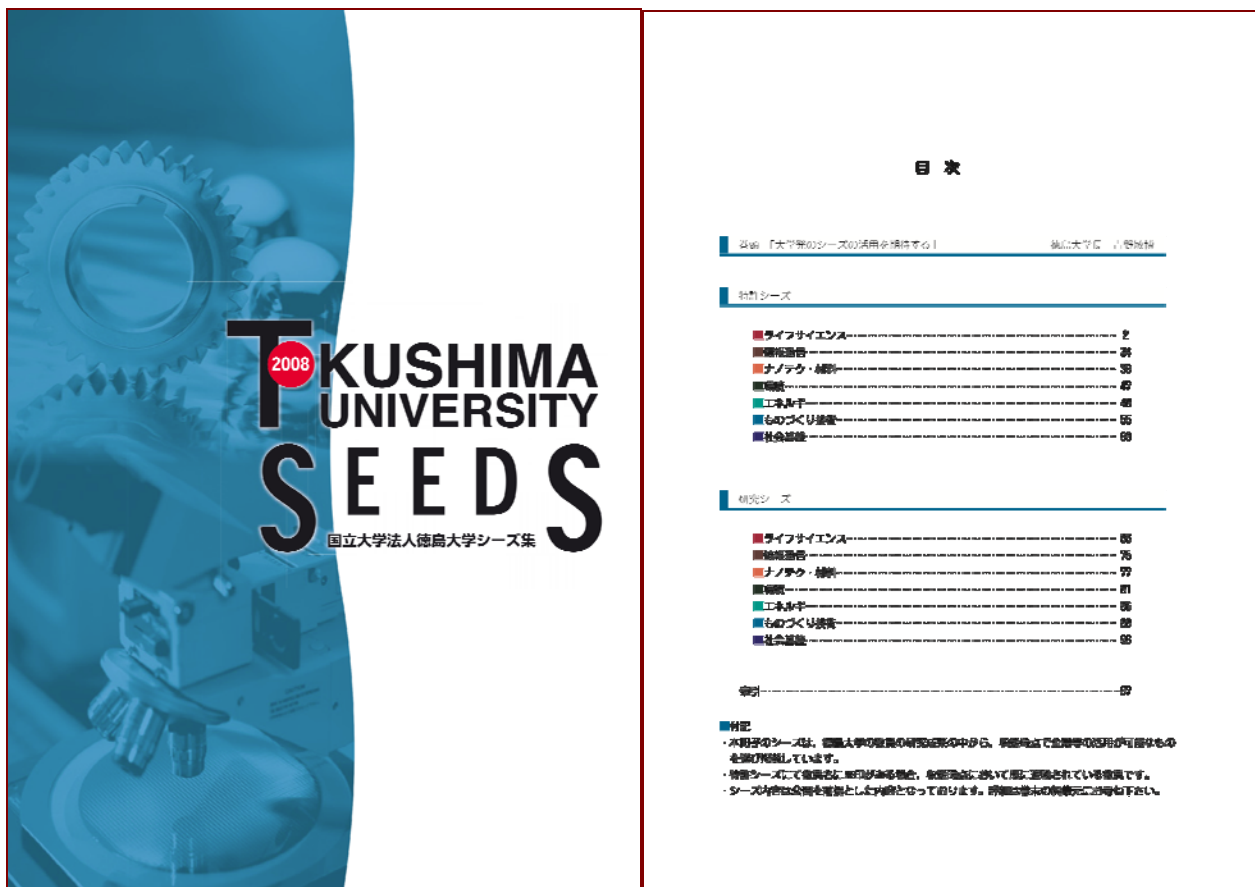
資料3-1-3 地域イノベーション創出共同体形成事業



(出典:経済産業省資料「平成20年度「地域イノベーション創出共同体形成事業」に係る補助金の交付先の選定について」より抜粋)

資料3-2-1 国立大学法人徳島大学シーズ集 2009

日本語版の表紙と目次 (掲載特許シーズ: 63 件, 研究シーズ: 44 件)



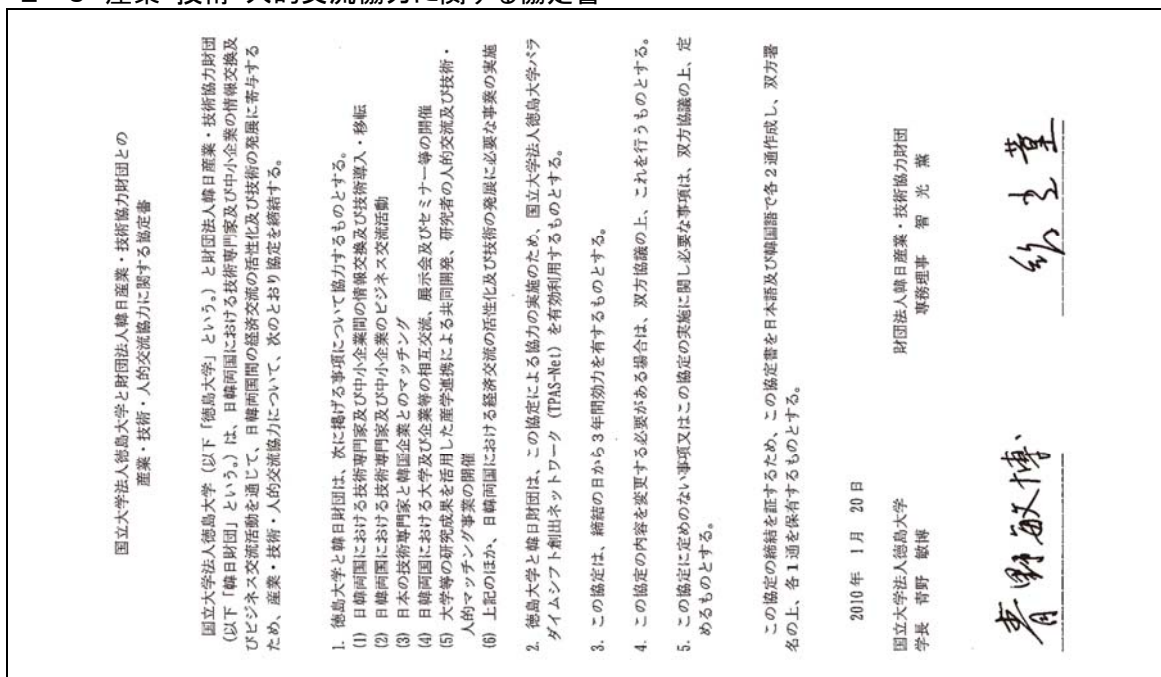
(出典:「国立大学法人徳島大学シーズ集 2009」より抜粋)

資料3-2-2 譲渡技術移転実績

年 度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
技術移転件数	3 件	12 件	13 件	8 件	19 件	7 件
技術移転対価	250 千円	4,200 千円	3,970 千円	7,223 千円	11,090 千円	8,923 千円

(出典:研究国際部産学連携・研究連携課調べ)

資料3-2-3 産業・技術・人的交流協力に関する協定書



(出典:国立大学法人徳島大学と財団法人韓日産業・技術協力財団との産業・技術・人的交流協力に関する協定書)

資料3-2-4 韓日財団との協定締結に係る新聞記事

徳島新聞『日韓技術交流促進へ連携 徳島大学と韓日財団 きょう協定を締結 仲介システム相互利用』
平成 22年 1月 20日朝刊 23面 (記事総文字数 647文字)

(出典:平成 22年 1月 20日徳島新聞 23面 記事より一部抜粋)

資料3-2-5 国立大学法人徳島大学シーズ集 2009(英語版)

英語版の表紙と目次(掲載特許シーズ: 29件, 研究シーズ:37件)



(出典:「国立大学法人徳島大学シーズ集 2009(英語版)」抜粋)

資料3-3-3 Web版徳島大学卒業留学生同窓会名簿(卒業留学生データベース)

卒業留学生データベース

The University of Tokushima International Alumni Directory

卒業留学生データベースへようこそ！
 ここでは、自分の連絡先を入力したり、大学時代の良かった友達を探して連絡を取ることができます。
 Welcome to the University of Tokushima International Alumni Directory!
 You can register your contact information here and may reconnect with your fellow alumni of the University of Tokushima.

検索

名前から検索する Search by Name

Search

パスワードを変更する (Change Password)

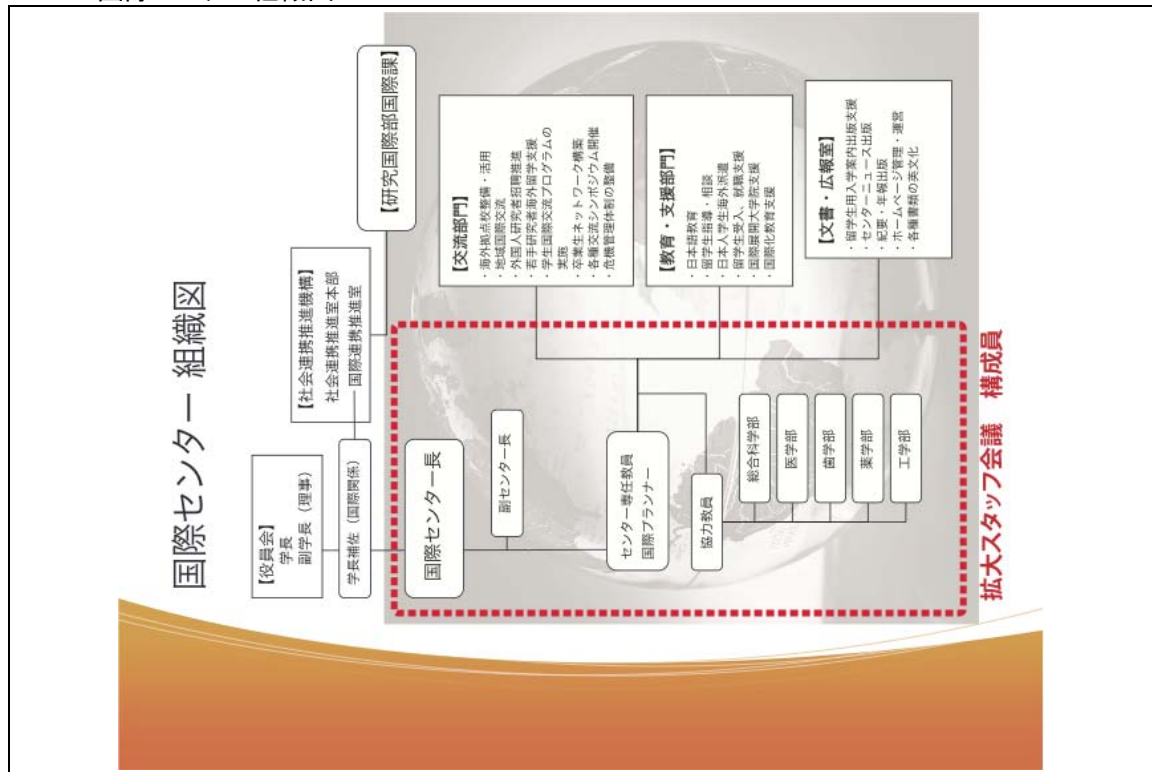
お問い合わせはコチラ (Submit Inquiry)

学部・大学院名	他人に公開
学系・課程・専攻	他人に公開
入学時期	他人に公開
卒業時期	他人に公開
指導教員	他人に公開
性別 (Male)	非公開
生年月日	非公開
出身国名	非公開
現住所	非公開
現住所電話番号	非公開
個人E-mail (フォームからのメール送信を拒否)	非公開
携帯電話番号	非公開
現勤務先	非公開
現勤務先所在地	非公開
現勤務先電話番号	非公開
現勤務先E-mail (フォームからのメール送信を拒否)	非公開
収録	非公開

(C)International Center The University of Tokushima All rights reserved.

(出典: 卒業留学生データベースのトップページ)

資料3-3-4 国際センター組織図



(出典: 徳島大学国際センターホームページより, 拡大スタッフ会議のメンバーを追加記載)

資料3-3-5 国際センター拡大スタッフ会議開催通知

拡大スタッフ会議の開催について（通知）

細井国際センター長 様
 国際センター教員 各位
 協力教員 各位
 国際課 各位

下記のとおり拡大スタッフ会議を開催します。ご出席方よろしくお願ひします。なお、欠席される方はお知らせくださるようお願いいたします。

国際課課長補佐内海 tel.6220

記

日時 平成21年7月29日(水)16時30分
 場所 日亜会館2F講義室1

議題

- 1 留学生住宅総合補償の機関補償の取り扱いについて
- 2 康楽賞の推薦について
- 3 第二期中期目標期間における中期目標・中期計画（素案）に基づく年度計画等の作成について
- 4 コンピュータソフトウェアの適正な管理の徹底について
- 5 日韓理工系学部留学生推進フェアの開催について
- 6 総科からの教員控室・教室の備品の移動について
- 7 センターニュースレターについて
- 8 日亜会館講義室の使用について
- 9 秋期日本語研修コースの運営について
- 10 卒業生の住所等について
- 11 その他

報告事項

- 1 センターパンフレットについて
- 2 センター HP 進捗状況について
- 3 施設委員会報告
- 4 アジア人財コースの今後の予定について
- 5 日本語シンポジウムについて
- 6 日本語弁論大会について
- 7 本文化体験交流会について
- 8 日韓理工系学部留学生事業協議会の開催について
- 9 その他

以上

(出典:国際センター拡大スタッフ会議開催通知)

資料3-3-6 国際プランナーによる平成21年度主要業務のまとめ

国際センター国際プランナーによる21年度主要業務のまとめ

(1) 国際化推進のための企画・運営関係業務

<留学生のリクルートに関する事項>

- A. 留学生の本学入学に至る経緯と入学後の意識等を把握し、今後の効果的なリクルート計画の参考資料とするための留学生実態調査(日本語版及英語版)を作成した。(平成21年9月)
- B. 国際留学生部進学説明会(東京外国語大学)における徳島大学紹介と留学説明会の実施とそれに伴う大学紹介スライド(PowerPoint)の作成をした。(平成21年9月~10月)
- C. 本学英語ホームページにおける留学生アドミニョンページ(英)の作成を実施中。(平成21年9月~)
- D. 広報委員会や各部局、入試課等各方面との調整より当初の案件の全面改訂を行った。マレーシア留学フェア及びマレーシアにおける近年の日本留学志望者や日本との学術交流の傾向を調査するための日本国連機関訪問の準備を行った。(平成21年9月~12月)
- E. 入学志望者からの質問や要望への対応 (随時)

<交流協定校との連絡調整と新編開拓に関する事項>

- A. マレーシアサイナス大学との大学間協定締結および協定調印式のための訪問に関わる連絡調整、協定書関連業務。(平成21年9月~12月)
- B. 本学60周年記念式典招待大学との連絡調整と関連英文書作成、および来日時の対応を行った。(平成21年9月~11月)
- C. 慶北大学校(韓国)との協定更新の連絡調整と改訂への対応を継続中。(平成22年2月~)
- D. 英文協定書への変更に関する英文協定書作成と慶北大学との連絡と確認を行った。
- E. 英文一本化と一部内容改訂の申し出があったことと、旧協定の日本語版と韓国版の内容に相違点があったため相手先と各方面との調整に時間を要している。

<各協定校との連絡調整および関連文書とその英文確定型を作成した。(随時)>

<外部資金獲得に関する事項>

- A. 日本国外および国際機関による研究助成金情報の収集と一覧化業務を行った。(平成21年12月~)
- B. 本学の海外助成金に関する情報提供が未着手であったため、外部資金獲得機会の拡大のための新規業務として提案中。

(2) 留学生に対する支援関係業務

<留学卒業生同窓会設立及び同窓会ネットワークの充実に係る業務>

- A. 韓国同窓会設立支援と本学からの設立式出席に関する情報収集を行った。(平成21年9月~12月)
- B. 卒業留学生ネットワーク開設準備のための関連文書作成とその確定型を作成した。(平成21年10月)

<学内文書の英語化>

- A. 各担当が所有する留学生宿舍の入居の手引き、各種申請書、各種案内などの留学生関連文書を収集、仕分けし、英文化未対応のものを英文化し、既存の英文に関しては校正を行った。(平成21年11月~12月)

(3) その他、大学の国際化推進のために必要な業務

- A. マレーシアサイナス大学での学長スピーチと挨拶及びプレス対応原稿(英)作成、渡航に関する諸業務を行った。(平成21年10月~12月)
- B. PMO国際連携推進ワーキンググループへ参加し、本学の国際連携と国際業務に関する事項の検討や実施を国際課と共に進めている。(平成21年10月~)
- C. PMO事業に関する海外研修への参加とそれに伴う情報収集と計画案作成を行った。(平成21年10月~平成22年1月)

(出典:国際センター国際プランナー業務記録より)